

令和8年3月

# 第3次 恵那市産業振興ビジョン

稼ぐ力の強い、  
持続する地域産業の形成へ

## 計画期間

2026（令和8）年度 - 2029（令和11）年度

## 発行

岐阜県恵那市

# 目次

- 01 第3次恵那市産業振興ビジョン策定の概要 … 3
- 02 第2次恵那市産業振興ビジョンの取組評価 … 7
- 03 恵那市の産業をめぐる現状と推移 … 18
- 04 産業現場の声から探る  
恵那市の可能性と課題 … 35
- 05 恵那市の産業が目指す姿 … 42
- 06 施策の方向性と具体的な取り組み … 47
- 07 進行管理と評価指標 … 77
- 08 (参考資料)  
ビジョン策定資料 … 79



第3次恵那市産業振興ビジョン

**第3次  
恵那市  
産業振興  
ビジョン  
策定の概要**



# ビジョン目的・改定の趣旨

## 目的

「恵那市産業振興ビジョン」は、地域経済を支える中小企業などと市が協働し、社会経済環境の変化に対応しながら、本市の産業をどう発展させていくかの方向性や施策を示すために策定するものです。

また、本ビジョンは「恵那市中小企業・小規模企業振興条例」に基づき、関係団体との連携のもと、市が定める中小企業振興の指針としての役割も併せ持っています。

## 趣旨

『稼ぐ力の強い、持続する地域産業の形成』を目指す姿とした第2次ビジョン（令和4年3月-令和7年度末まで）策定以降も、人口減少や人手不足、GX（グリーントランスフォーメーション）、技術革新、国の政策転換など、産業を取り巻く環境は依然として、変化が激しく、複雑さを増しています。

こうした新たな課題に対応し、地域産業の持続的な成長を図るため、令和8年度からの第3次産業振興ビジョンを策定します。計画期間や位置づけはこれまでと同様に『恵那市総合計画』や、同時に策定された「恵那市観光ビジョン」との整合を図り、方針全体に一貫性を持たせながらビジョンの策定をしました。

# ビジョン目的・改定の趣旨

恵那市の経済を持続的に発展させるための総合的な指針である本ビジョンは、本市のまちづくりの指針である『**第3次恵那市総合計画（恵那市みらいビジョン）**』のもとでの産業振興施策と就労支援施策に関する個別計画として位置づけるものです。

さらに、「産業振興施策の推進」に当たっては、上位計画との整合性を図りながら、「第2次恵那市観光ビジョン」や「第3期恵那市ICT活用推進計画」等の産業振興に資する関連計画との整合性を図りつつ策定しました。

なお、観光は本市における重要な産業の一つであり、地域経済への波及効果も大きいことから、本ビジョンにおいてその基本的な位置づけや役割について触れますが、観光分野における具体的な戦略や施策の詳細については、別途策定される「観光ビジョン」にて整理し、施策の方向性や数値目標を示すものとします。

第3次恵那市総合計画 基本計画（R8-R11）

第3次恵那市産業振興ビジョン（R8-R11）

連携

第3期恵那市  
ICT活用推進計画

第2次恵那市  
観光ビジョン（R8-R11）

# ビジョンの計画期間

本ビジョンは、2026年度（令和8年度）から2029年度（令和11年度）までの4年間の計画とします。

なお、期間中は、恵那市の産業を取り巻く環境の変化に応じて戦略の見直しを行う等、時代の潮流に合わせて迅速かつ柔軟に対応します。

計画期間（4年間）

2026 ▶ 2029

令和8年度

2026

令和9年度

2027

令和10年度

2028

令和11年度

2029

第3次恵那市総合計画（前期基本計画）

第3次恵那市産業振興ビジョン

第2次恵那市観光ビジョン

第3次恵那市産業振興ビジョン

第2次  
恵那市  
産業振興  
ビジョンの  
取組評価

# 第2次恵那市 産業振興ビジョンの 概要について

## ビジョン概要

第2次産業振興ビジョンは、令和4年度から令和7年度までを計画期間とし、目指すべき将来像を「稼ぐ力の強い、持続する地域産業の形成」と決めました。その実現に向けて、重点的に取り組むべき視点として「カーボンニュートラルの実現」「周遊性の向上」「産業人材の育成」の3点を掲げ、これらを踏まえた7つの戦略と18の施策を体系的に整理し、産業振興施策を推進してきました。

### 計画期間

令和4年度

令和7年度

2022 ▶

2025

## 第2次恵那市 産業振興ビジョン概要

### 【目指すべき将来像】

稼ぐ力の強い、持続する地域産業の形成

### 【本市の特徴を活かした重視する視点】



カーボンニュートラルの実現



周遊性の向上



産業人材の育成

### 【6つの戦略と戦略に基づく施策】

#### 戦略1

電力の地産地消の推進とデジタル技術を活用した産業革新による稼ぐ力の増強

- ・1-1 カーボンニュートラルの実現に向けた電力の地産地消の推進と投資促進
- ・1-2 IOTの活用やデジタル化（DX）の推進による生産性の向上
- ・1-3 付加価値の高い新商品、新サービスの開発や成長産業への参入促進

#### 戦略2

来訪者の周遊性の向上や宿泊の促進と広域連携の推進による稼ぐ力の増強

- ・2-1 来訪者の市内周遊と宿泊を促進させるため施設・店舗の魅力向上や賑わい創出の拠点の整備
- ・2-2 リニア中央新幹線開業を活かした広域観光連携の推進による来訪者の拡大とインバウンド観光の推進
- ・2-3 恵那固有の自然や歴史を活かしたアウトドアレジャーと歴史観光の推進

#### 戦略3

地域経済の発展を支える企業集積の推進による稼ぐ力の増強

- ・3-1 事業拡大を進める域内事業所の支援と雇用拡大の推進
- ・3-2 多様な人材の活躍につながる企業誘致の推進
- ・3-3 新たな事業用地の確保と既存施設の活用促進

#### 戦略4

新たな活力を生む創業支援と異業種交流、産産連携の促進による稼ぐ力の増強

- ・4-1 起業・創業環境の整備推進による新事業の創出
- ・4-2 業種、分野を超えた域内事業者の連携、共創の推進

#### 戦略5

事業承継の促進と地域に根ざす地場産業の経営基盤の確立による稼ぐ力の増強

- ・5-1 域内事業所の経営全般の相談機能の充実と事業承継の促進
- ・5-2 EC取引等を活用した販路開拓の推進
- ・5-3 消費者ニーズや新たな生活様式に対応した魅力的な店舗・サービス作りの推進

#### 戦略6

次世代を担う産業人材の育成・確保と労働環境の改善による稼ぐ力の増強

- ・6-1 児童・生徒に対するキャリア教育の推進と域内事業所の魅力の積極的な発信
- ・6-2 IT・クリエイティブ人材の育成・確保
- ・6-3 能力や経験を活かした働き続けられる労働環境づくり
- ・6-4 人材誘致の視点に立った取り組みの推進

# 第2次恵那市 産業振興ビジョンの 戦略ごとの取組評価と課題

## 戦略1

### 電力の地産地消の推進とデジタル技術を活用した産業革新による稼ぐ力の増強

～脱炭素経済循環の確立と地域ブランドの創出～

#### 第2次ビジョンの成果（基盤）

##### ● 電力の地産地消と脱炭素化

地域新電力「恵那電力」による再エネ供給拡大。公共施設へのCO2フリー電力導入し、J-クレジットを活用したカーボンオフセット商品を創出することで、経済と環境の好循環モデルを確立しました。

##### ● デジタル化（DX）とブランド化

恵那くらしビジネスサポートセンター等によるデジタル化に対する相談やセミナーの実施などによる伴走支援で、市内企業の業務効率化の素地を形成しました。「えなブランド」認定制度を開始し、地域製品の付加価値向上に着手しました。

#### 第3次ビジョンへの課題（変革）

##### ▶ 効率化から「変革」への転換

第2次での業務効率化（守りのDX）から、今後はデジタル技術を活用して新たな収益や付加価値を生み出す「ビジネスモデル変革（攻めのDX）」への転換が必要です。

##### ▶ 脱炭素経営（GX）の本格化

エネルギー価格の変動等の外的リスクに強い産業構造を実現するため、省エネ化や再生可能エネルギー利用を推進し、脱炭素化の取組を企業の価値向上につなげるGXへの移行を加速することが求められています。

## 戦略2

## 来訪者の周遊性の向上や宿泊の促進と広域連携による稼ぐ力の増強

～歴史・観光資源の磨き上げとインバウンド対応～

### 第2次ビジョンの成果（基盤）

- 歴史・文化資源の活用

歴史・文化資源の活用 山城や中山道等の固有資源を軸に、WRC連携や広域事業などの観光施策を展開。体験型コンテンツの造成や関係者連携により活用範囲と来訪機会を拡大させ、歴史・文化資源を周遊・滞在型観光と結び付けて活かす基盤を確立した。

- インバウンド・受入環境

インバウンド・受入環境 海外向けの多言語発信やWi-Fi・キャッシュレス対応など受入環境を整備。Webや広域連携による情報提供で接点も拡充した。今後は二次交通や案内体制を充実させ、満足度向上と滞在促進を図る。

### 第3次ビジョンへの課題（変革）

- ▶ 「通過型」から「滞在型」への質的転換

観光入込客数は回復傾向にあるものの、日帰り・通過型が主体です。宿泊客数や消費単価の向上が課題です。

- ▶ 「選ばれる」観光地づくり

リニア開業を見据え、単に見るだけの観光から、食・歴史・アウトドアを深く体験する高付加価値なコンテンツへ転換し、目的地として選ばれる地域となる必要があります。

## 戦略3

## 地域経済を支える 企業集積の推進による稼ぐ力の増強

～産業用地の確保と企業投資の促進～

### 第2次ビジョンの成果（基盤）

- 産業用地整備と企業誘致

「恵那西工業団地」の開発・分譲を進め、順調に企業立地協定を締結しました。完売に向けた道筋をつけています。

- 市内企業の投資支援

「企業等立地（再投資）奨励金」により、市内企業の設備投資や事業拡大を積極的に支援し、雇用の受け皿を維持しました。

### 第3次ビジョンへの課題（変革）

- ▶ 次世代産業の集積と用地確保

産業用地不足が顕在化しています。スマートIC周辺等の新たな適地確保に加え、環境・エネルギーや先端技術など、高付加価値な「次世代産業」の集積が求められます。

- ▶ リニア効果の最大化

物流2024年問題に対応した共同配送システムの構築など、持続可能な物流網と、リニアアクセスを活かした高機能な産業基盤の整備が必要です。

## 戦略4

## 新たな活力を生む創業支援と異業種交流、 産産連携の促進による稼ぐ力の増強

～創業エコシステムの定着とビジネスマッチング～

### 第2次ビジョンの成果（基盤）

- 創業支援体制の確立

ビジネスサポートセンターにて起業希望者に対し事業計画のブラッシュアップ等の支援を実施し、飲食・サービス業を中心に多数の創業を実現。商工振興補助金による金銭的支援を実施しました。

- 連携の促進

ビジネスマッチング事業により、製造業×小売など、異業種連携による新たな商品開発や販路拡大の事例を創出しました。

### 第3次ビジョンへの課題（変革）

- ▶ 「創業」から「イノベーション」へ

小規模な創業支援にとどまらず、地域課題解決や新技術活用を志向する「スタートアップ」の育成が必要です。

- ▶ 産学官連携の深化

産業や地域の枠を超えた「オープンイノベーション」を促進し、大学や外部企業のリソースを取り込んで新事業を創出する仕組みが求められます。

## 戦略5

## 事業承継の促進と地域に根差す 地場産業の経営基盤の確立による稼ぐ力の増強

～経営基盤の強化と地域消費の喚起～

### 第2次ビジョンの成果（基盤）

- 伴走型経営支援

ビジネスサポートセンターにて経営改善や販路拡大、新分野展開等の相談に対応。EC活用や補助金申請など、個別の課題に即したきめ細かな支援を行いました。

- 地域消費の喚起

紙商品券だけではなく使いやすい電子商品券を導入しキャッシュレス決済を推進。地域内の経済循環を下支えしました。

### 第3次ビジョンへの課題（変革）

- ▶ 事業承継を好機とした「第二創業」

高齢化による黒字廃業を回避し、後継者が新事業や業態転換に挑む「アトツギベンチャー」を支援して企業の若返りを図る必要があります。

- ▶ 地域外への富の流出阻止

市外への買い物やネット通販による所得流出を防ぐため、地域内取引の拡大や地産地消を強化し、地域でお金が回る強靱な経済循環を作ります。

## 戦略6

## 次世代を担う産業人材の育成・確保と 労働環境の改善による稼ぐ力の増強

～切れ目のないキャリア教育と多様な人材活躍～

### 第2次ビジョンの成果（基盤）

- **キャリア教育の推進**

小学生（えーなお仕事探検隊）、中学生おしごと体験などのキャリア教育を体系化し、早期から地元企業を知る機会を創出しました。

- **人材マッチング**

女性・シニア・移住者への就労支援を強化し、潜在的な労働力を掘り起こしてマッチングを実現しました。

### 第3次ビジョンへの課題（変革）

- ▶ **「選ばれる」企業・地域づくり**

若者の流出（特に就職時）に対し、賃上げや柔軟な働き方（テレワーク、副業等）の環境整備を行い、魅力ある就労環境を作ることが急務です。

- ▶ **多様な外部人材の活用**

定住人口減少を補うため、副業・兼業人材や外国人材など、多様な「外部人材」を地域産業の担い手として取り込む仕組みが必要です。

# 第2次恵那市 産業振興ビジョンの KPIについて

※R7と5年実績は見込み数

KPI①	R2	R3	R4	R5	R6	※R7	※実績 5年累計	目標値 5年累計
CO2フリー電力の導入事業所数 (従業員数50人以上の製造業) (5カ年累計)	—	12	12	12	12	12	12	10社
恵那ビジネスサポートセンターでのデジタル化相談件数(累計)	—	—	39	95	145	195	195	40社
KPI②	R2	R3	R4	R5	R6	※R7	※実績 5年平均	目標値 5年平均
観光入込客数(万人)	307万人	272	333	340	355	350	330	407
延べ宿泊者数(千人)	169千人	171	220	226	259	250	225	263
KPI③	R2	R3	R4	R5	R6	※R7	※実績 5年累計	目標値 5年累計
市内事業所の事業拡大を目的とした投資件数(企業等立地(再投資)奨励金制度の適用件数)(5カ年累計)	7件	2	8	14	16	18	18	10件
事業所の新規立地件数(企業等立地奨励金・本社機能移転促進制度の適用件数)(5カ年累計)	0件	0	0	4	6	6	6	4件
KPI④	R2	R3	R4	R5	R6	※R7	※実績 5年累計	目標値 5年累計
起業支援事業補助金の適用件数(5カ年累計)	55件	14	38	56	73	87	87	85件
恵那くらしビジネスサポートセンターでのビジネスマッチングの件数(5カ年累計)	—	3	11	25	38	50	50	25件
KPI⑤	R2	R3	R4	R5	R6	※R7	※実績 5年累計/平均	目標値 5年累計
新商品開発支援事業補助金の適用件数(5カ年累計)	39件	5	10	16	21	26	26	50件
恵那くらしビジネスサポートセンターにおけるビジネス関連の相談案件数(4カ年平均)	571件	—	806	786	397	400	597	800
KPI⑥	R2	R3	R4	R5	R6	※R7	※実績 5年平均	目標値 5年累計
高校生の市内事業所への就職率(5カ年平均)	20.68%	19.82%	21.52%	21.47%	20.16%	20%	20.59%	25% (5年平均)
児童、生徒、学生に対する市内事業所の魅力・情報を発信する取組件数(単年) (企業見学、企業説明会、職業講話、おしごと体験等)	12件	—	23件	25件	16件	16件	20	20件 (R7単年)

第2次恵那市産業振興ビジョン総括

---

## 第2次から第3次ビジョンへ

---

施策のステージは  
「産業基盤」から「変革・成長へ」

### 第2次ビジョン（～R7）

#### 産業振興の「基盤づくり」

地産地消 / デジタル化の着手  
創業支援体制の確立 / 観光資源の磨き上げ

### 第3次ビジョン（R8～）

---

#### 基盤を活かした「変革」と 「外貨獲得」への挑戦

イノベーション・スタートアップ  
グローバル・広域展開  
リニア効果最大化・第2創業・高付加価値化・人材確保



第3次恵那市産業振興ビジョン

恵那市の  
産業をめぐる  
現状と推移



# 位置・地勢と広域アクセス

## 都市規模と立地特性

総面積

# 504.24km<sup>2</sup>

参考: 東京23区 (627km<sup>2</sup>)

特徴

- 岐阜県南東部に位置
- 愛知県・長野県に隣接
- 山紫水明の豊かな自然
- 500km<sup>2</sup>超の広大な土地

恵那市は、名古屋から1時間圏内という**地理的優位性**に加え、リニア中央新幹線開通による更なる**アクセス向上**が期待されています。この立地は企業誘致や交流人口の拡大において強力な武器となります。今後は、この物理的な利便性を活かすだけでなく、都市部との機能連携や広域的なネットワーク構築を進め、産業展開の**基盤強化**を図ることが重要です。恵那市が単なる通過点ではなく、人や情報が集まる結節点としての地位確立を目指します。

## アクセス環境



名古屋駅より1時間程度（JR中央線利用）  
大阪駅より2時間程度（東海道新幹線利用）  
東京駅より3時間弱程度（東海道新幹線利用）



名古屋より40分程度（高速道路利用）  
大阪より2時間30分程度（高速道路利用）  
東京より3時間30分程度（高速道路利用）



中部国際空港より  
1時間20分程度（高速道路利用）  
2時間程度（JR線など利用）



リニア中央新幹線（予定）  
東京駅より60分程度  
名古屋駅より15分程度  
岐阜県駅（仮称）より5分  
（車またはJR利用）



# 人口動態と 将来推計



人口 (R7.5.1)

45,663



世帯数

19,958

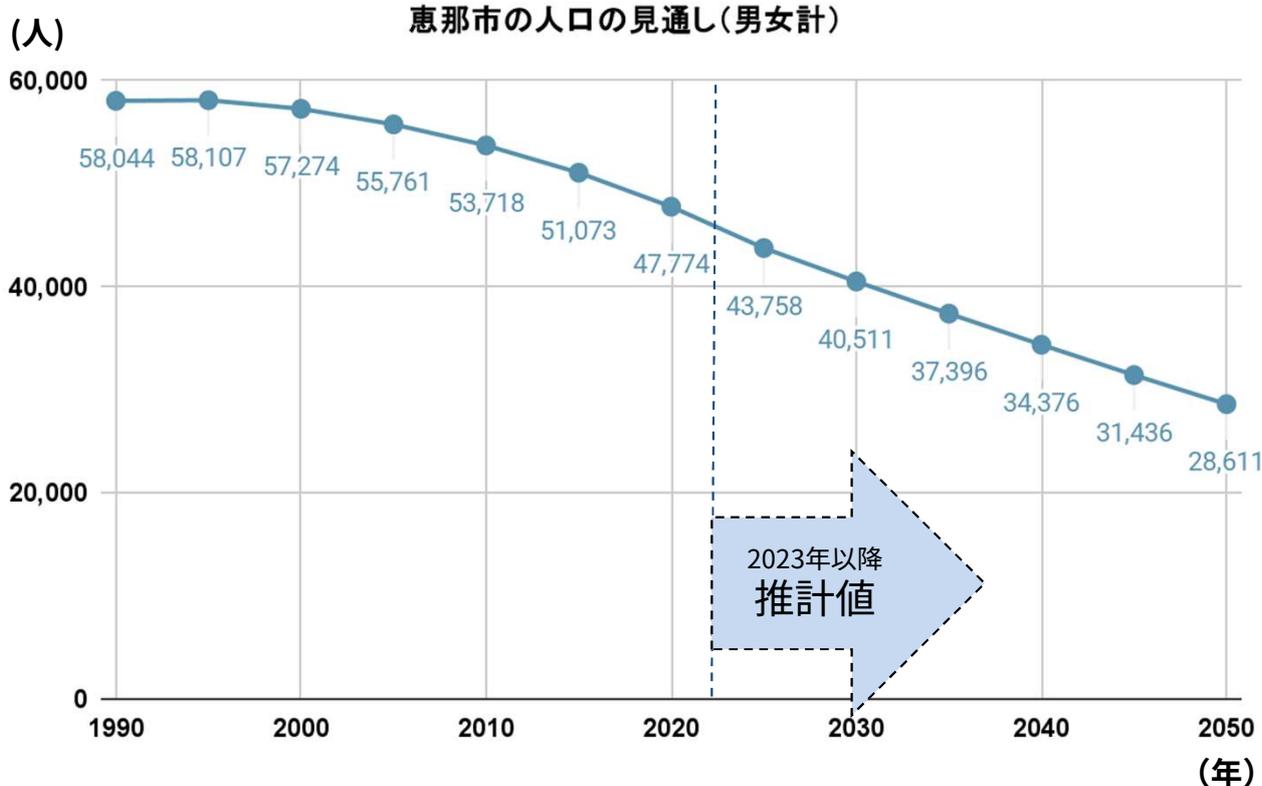
高齢化率

32.6 %



## 人口推移 (1985-2045)

1985年をピークに人口は減少局面に入り、このまま推移すれば10年後の2035年には**3万8千人弱**まで減少すると推計されています。人口減少は地域市場の縮小のみならず、医療・介護・交通といった社会インフラの維持も困難にします。持続可能な都市経営を行うためには、定住人口の維持に向けた**担い手の確保**が最優先事項です。特に、減少幅が大きい生産年齢人口を呼び込むための、総合的な人口対策と魅力づくりが急務です。



出典：総務省「国勢調査」、2025年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（令和5年推計）」

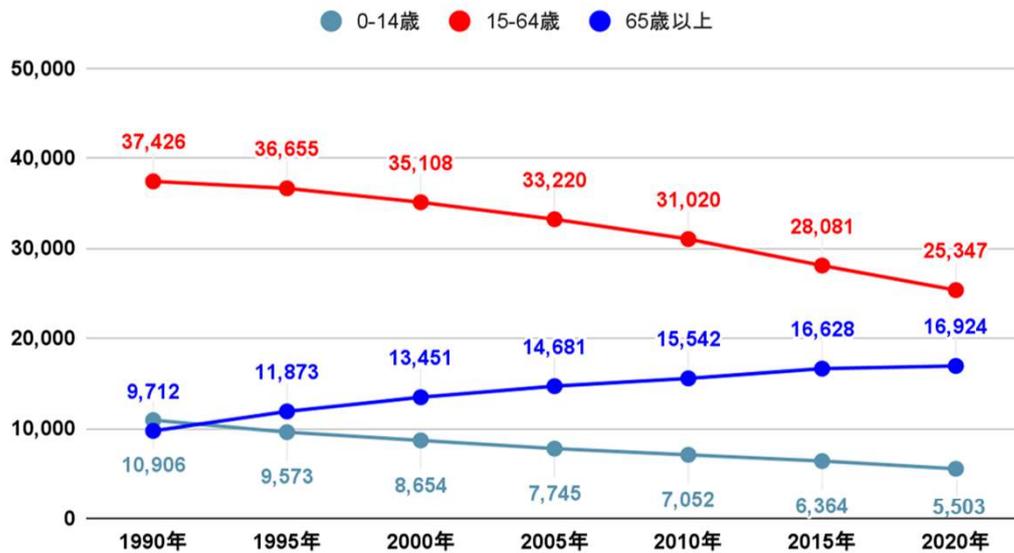
# 年齢3区分別人口構成



## 年齢別人口の推移

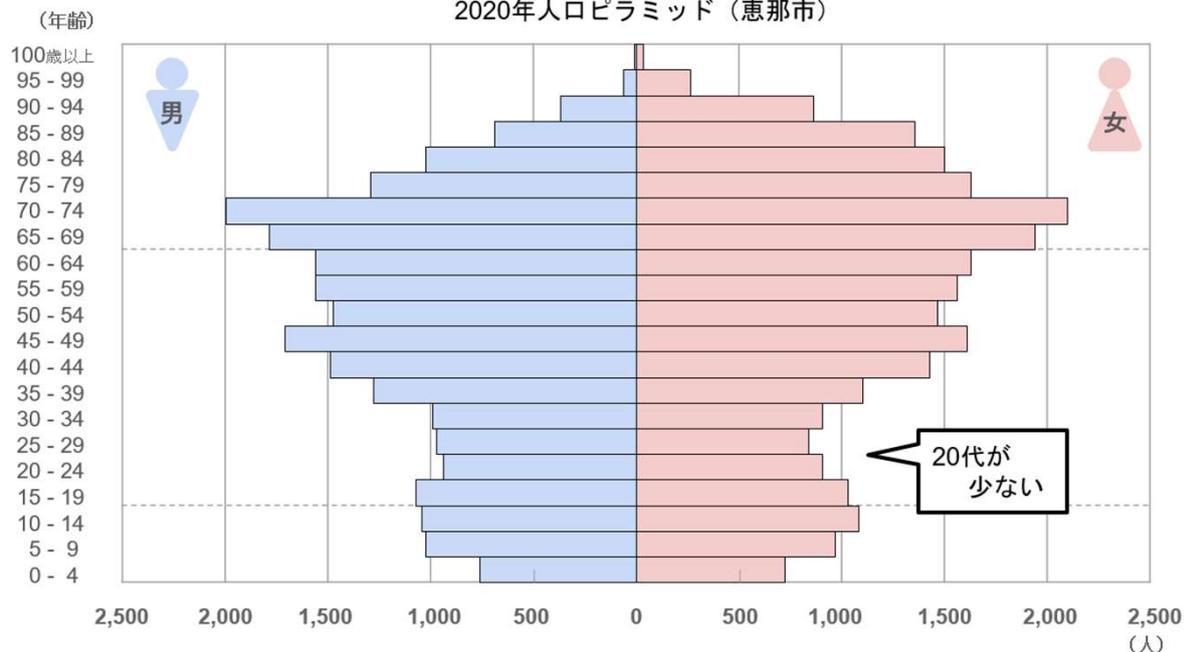
急速な少子高齢化により生産年齢人口が大幅に減少し、**地域産業の担い手不足**が深刻化しています。労働力の供給制約は、企業の存続や経済成長のボトルネックとなります。この課題克服には、若者・女性・高齢者など多様な人材が活躍できる**新たな働き方の導入**や、省力化投資による労働生産性の向上が不可欠です。

年齢3区分別人口の推移(恵那市)



出典：「統計からみた恵那市の現状」岐阜県環境エネルギー生活部統計課 (2025/7更新)

2020年人口ピラミッド(恵那市)



出典：「統計からみた恵那市の現状」岐阜県環境エネルギー生活部統計課 (2025/7更新)

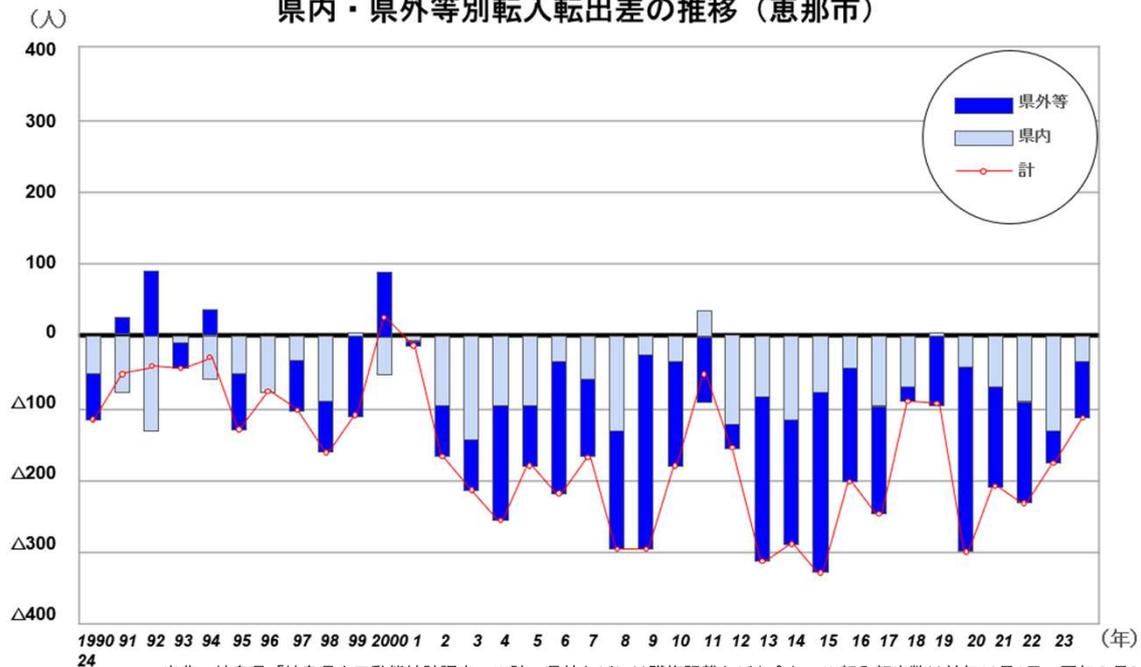
# 人口転出と異動理由



## 人口の転出入状況

進学や就職の機となる**20代の若年層**において、大幅な**転出超過**が続いています。特に10代後半から20代前半の流出が顕著で、一度出た若者が戻らない「還流不足」が人口減少の主要因です。次代を担う世代の減少は地域の消費やコミュニティ機能の低下に直結するため、若者が戻りたくなる**魅力ある地域づくり**が必要です。

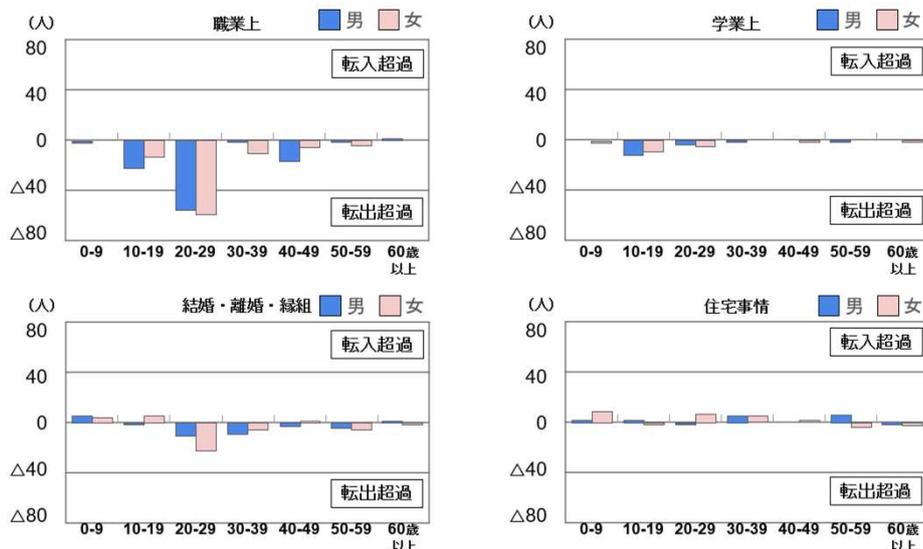
県内・県外等別転入転出差の推移（恵那市）



## 転出・異動の理由

転出の理由は「就職」「結婚」などのライフステージの変化です。特に就職による転出の多さは、若者が求める**魅力的な就業の場**や**キャリアパス**が地域内に不足していることを示唆しています。企業誘致に加え、既存企業での職種創出や子育てしやすい**生活環境の向上**など、若者の人生設計に寄り添った定住促進策が不可欠です。

主な異動理由でみた世代別日本人の社会動態（恵那市 2024年）



# 事業所と雇用の現状

## 事業所数・従業員数

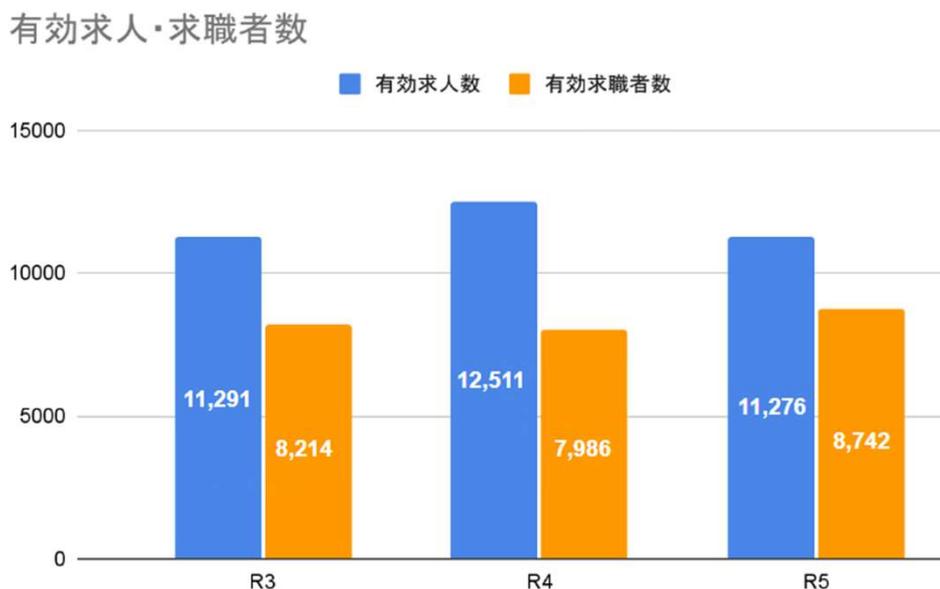
事業所数は横ばいですが、従業員数は底を打ち回復基調にあります。これは、既存企業が規模拡大や雇用維持に尽力しているためと考えられます。しかし、少子化で労働供給は先細りするため、単なる人手不足の解消にとどまらず、デジタル技術等を活用して一人当たりの生産性を高め、より少ない人数でも付加価値を生み出せる構造への転換が必要です。



出典：RESAS地域経済分析システム及び経済センサス活動調査再編加工

## 有効求人倍率・求職者数

有効求人倍率は常に高く、全国同様に「人手不足」が常態化しています。多くの事業者が採用難に苦しむ一方、従業者数は回復傾向に転じており、地域企業が厳しい環境下でも雇用の受け皿機能を維持していることがわかります。今後は限られた労働力で成果を出すため、省力化や多様な人材の活用による労働参加率向上が鍵です。



出典：ハローワーク恵那業務年報再編

# 事業所の創廃業について

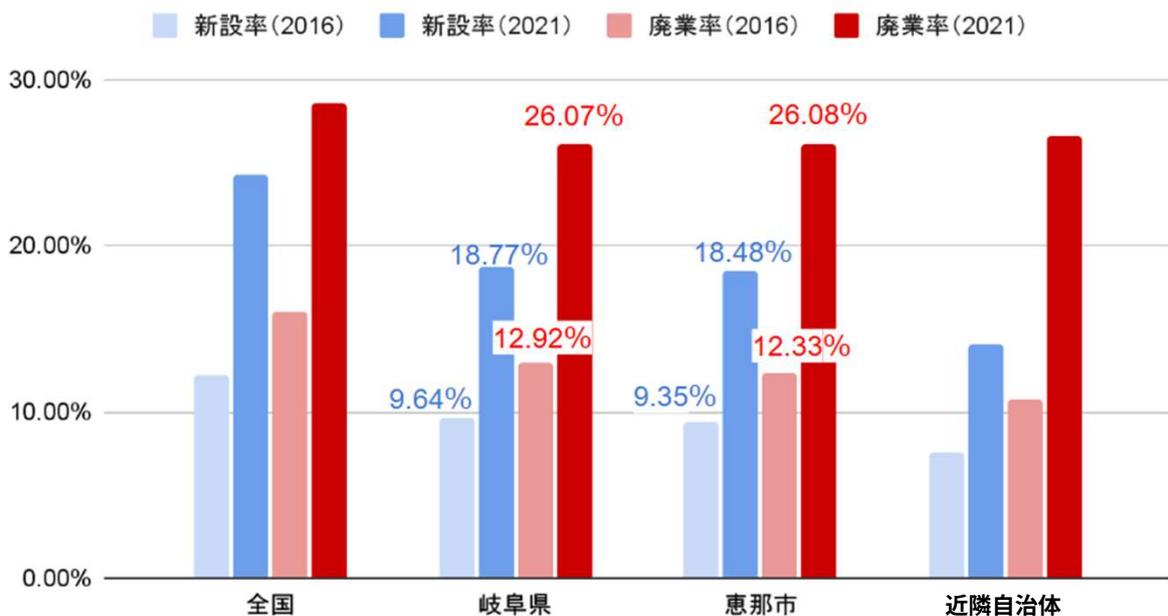


## 創業・廃業の動向

新設事業所数は増加傾向にありますが、**国や岐阜県の平均**と比較すると、本市の開業率は依然として低い水準に留まっています。隣接する**近隣自治体**と比較しても産業の新陳代謝は緩やかであり、地域全体として起業の機運を高める必要があります。

一方で、経営が健全であっても**後継者不在**を理由に事業を畳む「黒字廃業」のリスクが高まっています。地域独自の技術や暖簾が失われることは、産業基盤の空洞化を招きます。そのため、**創業支援**による新たな担い手の確保に加え、貴重な経営資源を次代へつなぐ**事業承継のマッチング支援**など、既存産業を足元から守り育てる施策を両輪で進めることが急務です。

2016-2021 新設事業所率と廃業事業所率



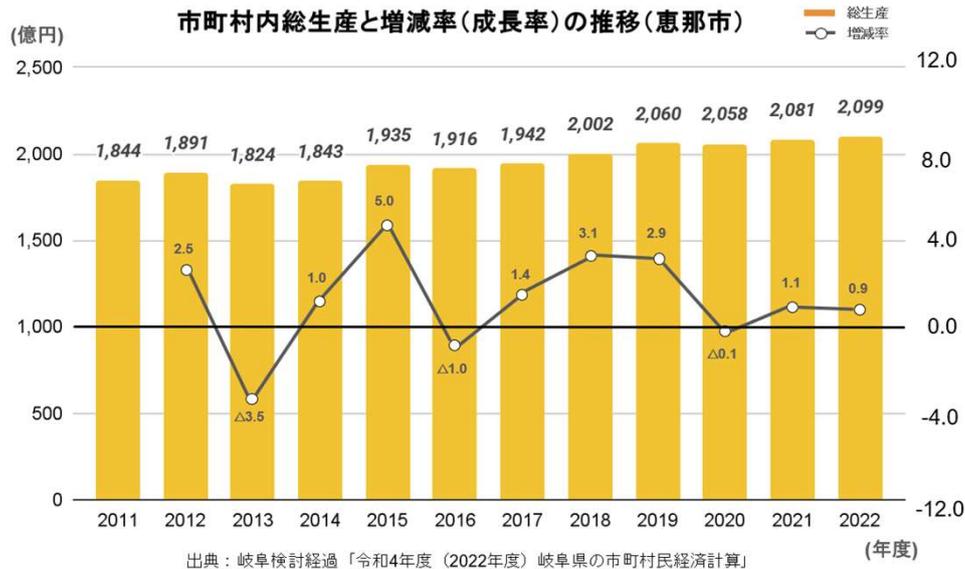
出典：e-Statおよび経済センサス活動調査（2016/2021）再編加工

# 市内総生産と産業構造



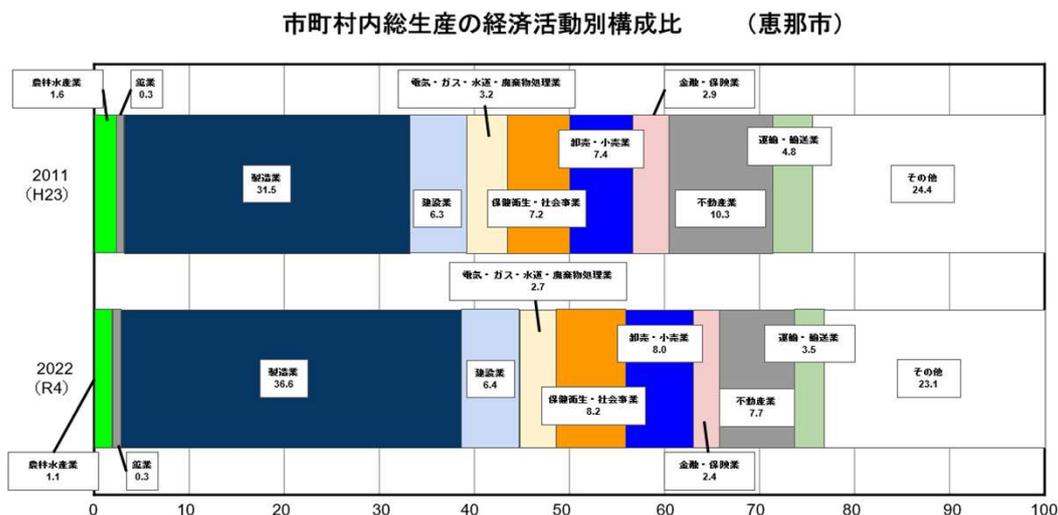
## 市内総生産額 (GDP) 推移

市内総生産は直近で約2,099億円となりましたが、長期的には横ばい傾向で推移しており、経済成長の停滞が懸念されます。人口減少により国内市場が縮小する中で、現状維持は実質的な衰退を意味します。新たな成長軌道に乗せるため、既存産業の枠を超えた抜本的な**産業活性化策**とイノベーションの創出が強く求められます。



## 産業別構成割合

製造業が経済基盤となりつつ、医療・福祉、卸売・小売などの第3次産業が支える**バランスの取れた産業構造**です。特定産業への過度な依存がない点は強みですが、全体的に労働生産性が伸び悩んでいます。今後は各分野での**DX推進**やサービスの高付加価値化により産業全体の底上げを図り、変化に強い**強靱な産業構造**を構築する必要があります。



出典：岐阜県統計課「絵里和4年度（2022年度）岐阜県の市町村経済計算」

注1：「不動産業」には、持ち家の帰属家賃を含んでいる。

注2：「その他」は、宿泊・飲食サービス業、情報通信業、専門・科学技術、業務支援サービス業、公務、教育、その他のサービスの合計。なお、輸入品に課される税・関税なども含めている。

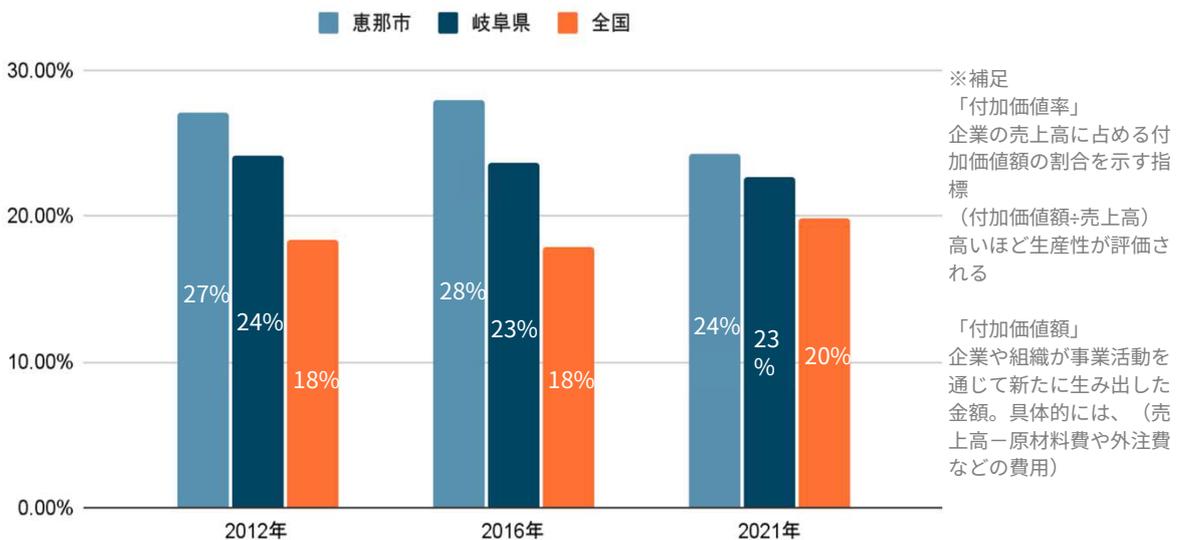
# 付加価値と地域経済循環



## 付加価値率の推移

かつては県平均を大きく上回っていた付加価値率は近年は低下傾向にあり、その優位性が縮小しています。これは、原材料価格の高騰を価格に転嫁できていないことや、低付加価値な製品構成からの脱却遅れを示唆しています。コスト競争を避け、独自技術やブランド力を活かした製品開発を進め、「稼ぐ力」の向上を図ることが企業の存続に不可欠です。

### 産業付加価値率(%)の比較

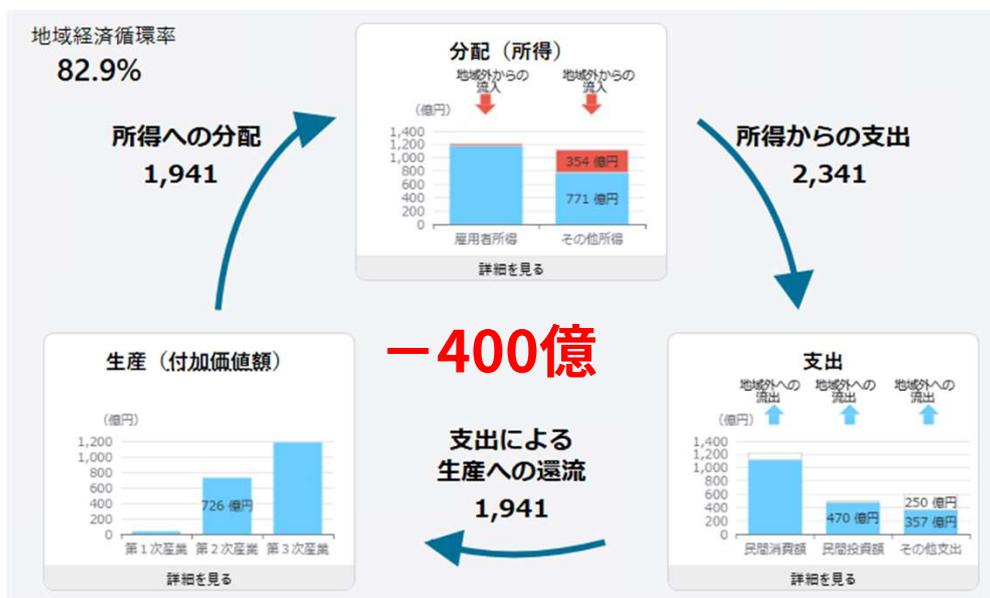


出典：RESAS地域経済分析システム及び経済センサス活動調査再編加工



## 地域経済循環率

市内で生み出された所得のうち、約2割にあたる400億円規模が市外へ流出しています。ネット通販の拡大や市外での買い物などが要因ですが、この流出分を少しでも取り戻せば大きな経済効果が生まれます。地産地消や地域内取引の拡大など、市外への支出を抑えて地域内でお金が回る持続可能な経済循環構造への転換が急務です。



出典：RESASおよび経済センサス活動調査

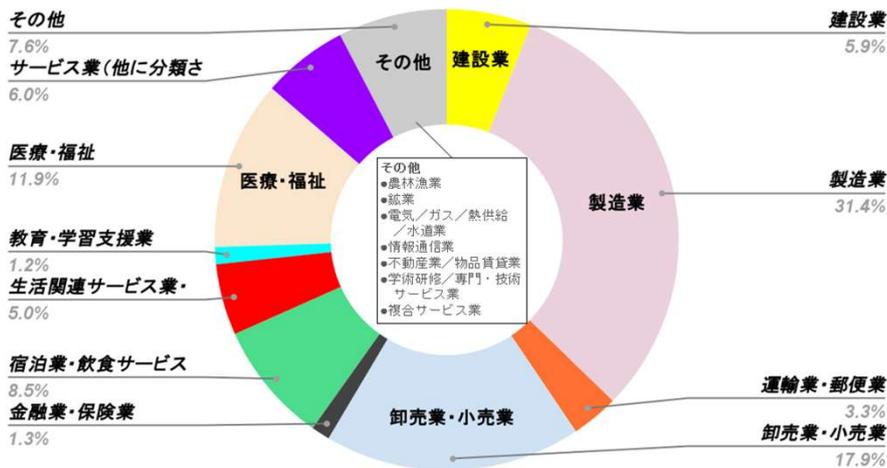
# 従業者構成と特化係数



## 産業別従業者数

全従業者の約3割が製造業に従事しており、地域雇用の最大の受け皿として市民の生活を支えています。次いで卸売・小売業、医療・福祉が多く、これら主要3産業で全体の過半数を占めます。特に医療・福祉は需要が高まっています。産業基盤を足元から固めるため、働きやすい環境整備や人材確保支援を重点的に行う必要があります。

産業別従業員数の構成比（恵那市 2021年）



出典：総務省「令和3年（2021年）経済センサス-活動調査」  
 注）事業内容などが不詳の事業所を除く、公務を除く。



## 特化係数による分析

全国水準と比較して農林業や鉱業（採石・陶土）の特化係数が高く、豊富な森林や良質な土壌など恵那市独自の地域資源を活かした産業特性が表れています。これらは他地域にない強みであり、観光や特産品とも好相性です。単なる素材供給にとどめず、加工・販売を含めた6次産業化を進め、「稼げる産業」へと昇華させるべきです。

産業別事業所数、従業者数（恵那市2021年）

	事業所数	従業者数		産業別従業者数の構成比による特化係数	
		(人)	構成比	全国=1.00	県=1.00
総数	2,446	23,215	100.0	1.00	1.00
農林漁業	52	662	2.9	3.64	2.64
鉱業	4	25	0.1	3.17	1.61
建設業	255	1,381	5.9	0.92	0.87
製造業	293	7,286	31.4	2.07	1.27
電気・ガス・熱供給・水道業	4	20	0.1	0.25	0.28
情報通信業	6	28	0.1	0.04	0.16
運輸業・郵便業	65	760	3.3	0.58	0.72
卸売業・小売業	565	4,156	17.9	0.89	0.94
金融業・保険業	37	298	1.3	0.50	0.56
不動産業・物品賃貸業	100	248	1.1	0.38	0.61
学術研究・専門技術サービス業	98	456	2.0	0.54	0.87
宿泊業・飲食サービス業	327	1,962	8.5	1.05	1.03
生活関連サービス業・娯楽業	207	1,166	5.0	1.34	1.25
教育・学習支援業	65	283	1.2	0.36	0.46
医療・福祉	200	2,767	11.9	0.85	0.90
複合サービス業	31	334	1.4	1.91	1.58
サービス業（ほかに分類されないもの）	137	1,383	6.0	0.66	0.83

出典：総務省「令和3年（2021年）経済センサス-活動調査」 注）事業内容などが不詳の事業所を除く、公務を除く。

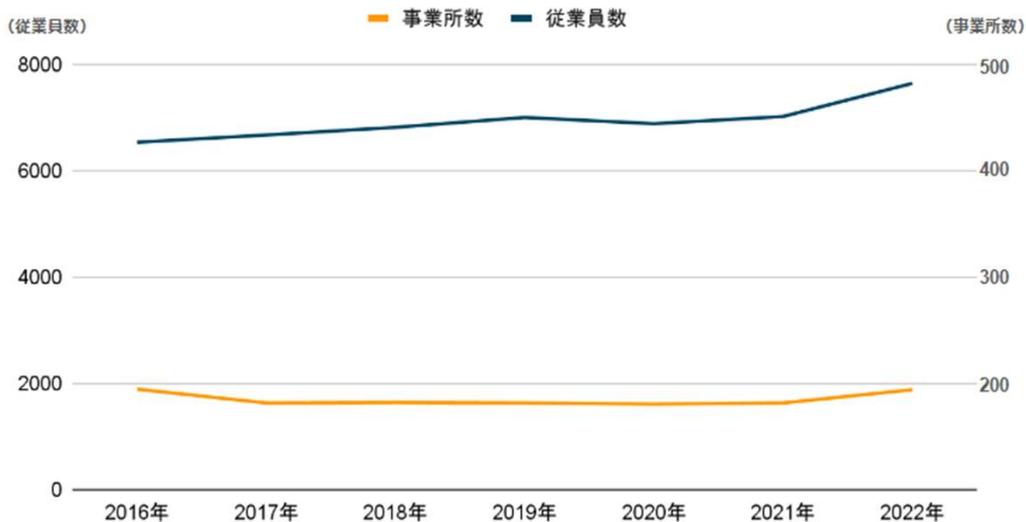
# 製造業の動向と構成



## 従業者数・事業所数

製造業の事業所数は横ばいですが、従業者数は直近で回復基調にあり、地域の雇用安定に寄与しています。国内回帰の動きは好材料ですが、人手不足感は強いまです。今後は規模維持だけでなく、ロボット導入や業務効率化で一人当たりの生産性を最大化し、質の高い雇用と賃金を生み出す生産性向上への投資が強く求められます。

(製造業)事業所数と従業員数



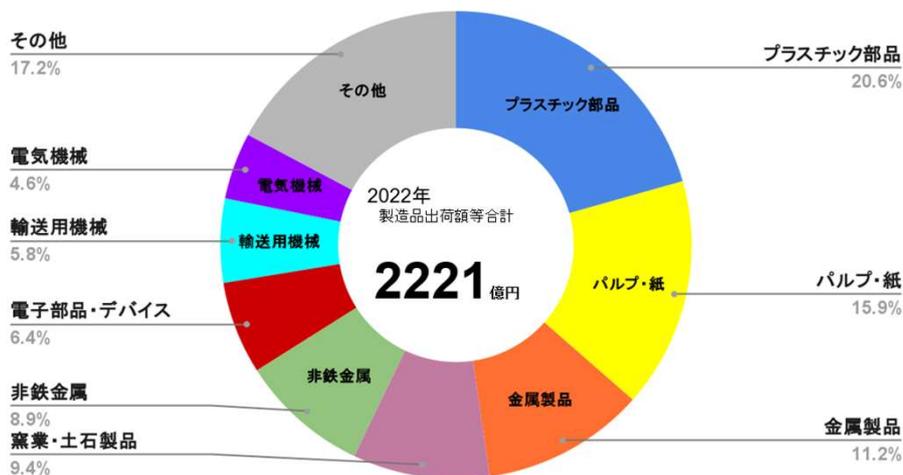
出典：RESASおよび経済センサス活動調査、2020年の総務省による統計ダッシュボード調査データ再編



## 業種構成（素材加工型）

プラスチックや紙などの「素材加工型産業」が主力ですが、原油価格や市況に経営が左右されやすい構造です。サプライチェーン上流の重要性を維持しつつ、リスク分散のために独自製品開発や成長分野への参入を促し、技術革新による強靱な産業体質へ転換することが、安定的な地域経済の発展には不可欠です。

製造品出荷額等の業務構成(恵那市)



出典：総務省・経済産業省「令和5年（2023年）経済構造実態調査 製造事業所調査」（全事業所、個人経営を含まない）  
 注1：「一般機械」=はんよう機械器具+生産用機械器具+業務用機械器具  
 注2：「木材・家具等」=木材・木製品製造業（家具を除く）+家具・装備品製造業  
 注3：事業所数が少ないため製造品出荷額が秘匿となっている業種は「その他」に含む。  
 注4：単位未満を四捨五入しているため、合計は100%とならない場合がある。

# 製造業の出荷額と生産性



## 製造品出荷額の推移

製造品出荷額等は2016年を底にV字回復し、**2,200億円規模（県内8位規模）**まで持ち直しました。度重なる逆風下でも製造現場が力強い**復元力**を見せていることは明るい材料です。この回復を確実にするため、設備投資支援や販路開拓サポートを行い、企業の成長意欲を後押しする施策を継続的に展開する必要があります。

製造業製造品出荷額等の推移(恵那市)



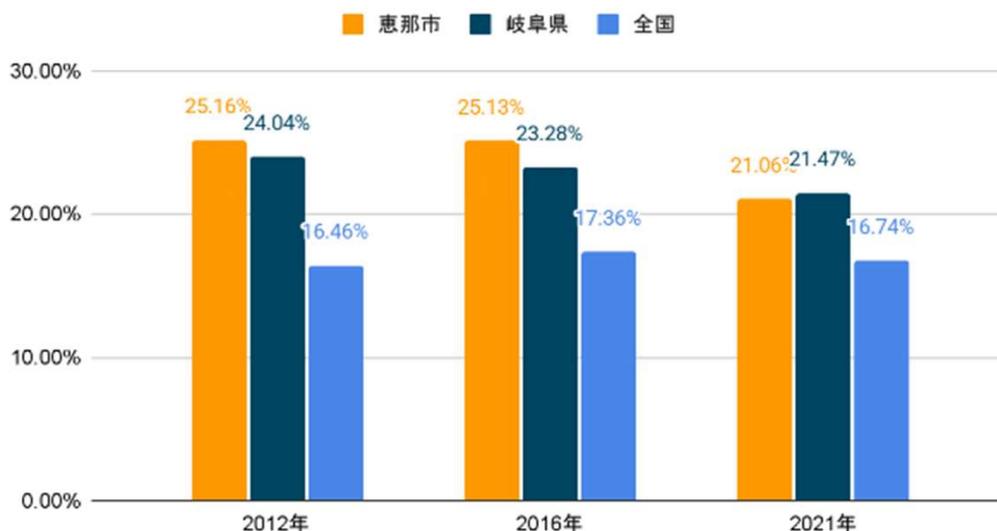
出典：「統計からみた恵那市の現状」岐阜県環境エネルギー生活部統計課（2025/7更新）



## 製造業の付加価値率

出荷額は回復しましたが**付加価値率は低下**しており、売上が利益に直結しにくい「薄利多売」傾向が懸念されます。単なる量産加工から脱却し、設計開発機能の強化や特化分野で圧倒的な強みを発揮する様な**独自技術**の確立など、高収益モデルへのシフトが必要です。利益率を高め、賃上げ原資を確保する好循環を作ることが必要です。

(製造業)産業付加価値率(%)の比較



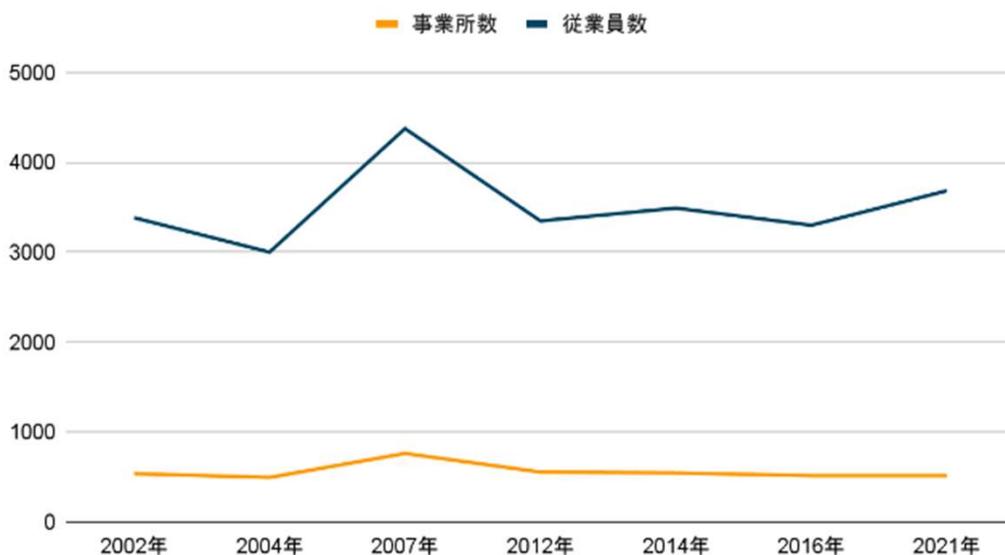
出典：RESASおよび経済センサス活動調査

# 商業の現状と近隣比較

## 商業事業所・従業員数

事業所数の減少には歯止めがかかりつつあり、従業者数は増加に転じました。地域の暮らしを支えるインフラとして店舗網の維持と雇用の確保が図られています。商業機能の維持は市民の利便性や賑わい創出に直結するため、高齢者対応も含め、地域コミュニティの核として持続可能な商業機能のあり方を模索する必要があります。

(商業) 事業所数・従業者数



出典：2020年の総務省による統計ダッシュボード調査データ再編

## 東濃5市比較

東濃5市での比較において、他市の事業所数が減少傾向にある中で本市は規模を維持し、従業者数については約12%増と最も高い伸び率を示しています。さらに飲食店比率が高いことも大きな特徴です。この産業基盤を「歴史・食・ロケ地」といった観光ポテンシャルと掛け合わせ、地域外からの外貨を獲得する産業へとつなげていく視点が重要です。

### 事業所数 (商業)

出典：2020年の総務省による統計ダッシュボード調査データ再編

自治体	恵那市	多治見市	中津川市	瑞浪市	土岐市
2016	516	1,098	780	397	822
2021	516	1,036	730	360	774

### 従業者数 (商業)

自治体	恵那市	多治見市	中津川市	瑞浪市	土岐市
2016	3,301	8,038	4,971	2,419	5,083
2021	3,685	8,395	5,346	2,582	5,400

# 商業販売額の推移と比較

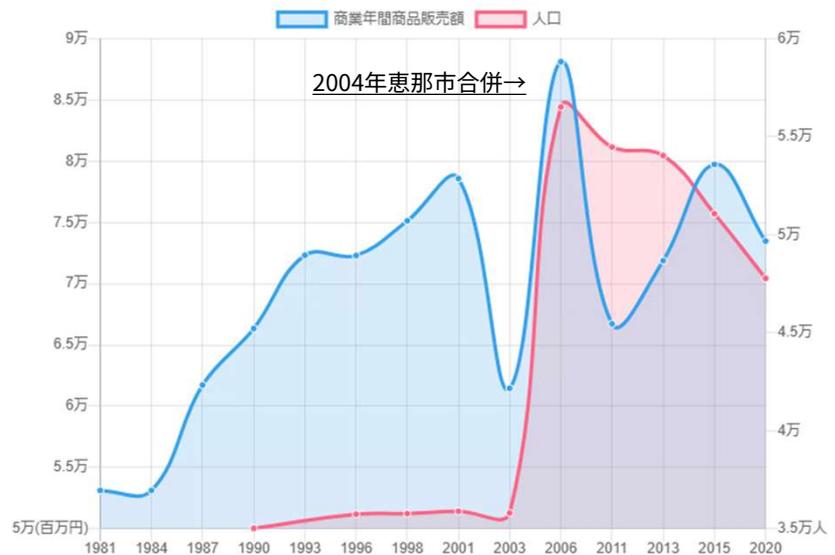
## 年間商品販売額の推移

雇用者数は堅調に推移している一方で、**年間商品販売額は減少傾向が続いています**。ネット通販の普及などで地域内の購買機会が失われているのが一因と考えられます。リアル店舗ならではの接客や体験価値の提供、ECとの融合など、消費構造の変化に対応した**実店舗ならではの魅力づくり**を行い、購買客を呼び戻す施策が求められます。

**商業年間商品販売額**  
**2020年 734億円**  
 卸売業 417億円  
 小売業 317億円

※備考  
 ○卸売業  
 商品を他の事業者販売  
 (例：食品卸、機械卸等)  
 ○小売業  
 商品を消費者に販売(例：スーパー、家電量販店、書店等)  
 ○年間商品販売額  
 商業(卸売業・小売業)による  
 商品販売の総額(商品販売のみの  
 収入であるため・保険・不動産・  
 サービス(役務)は含まれない)

恵那市の商業年間商品販売額推移グラフ(1981-2020)



出典：graphotochart.com作成

## 県・国との比較(2020年)

従業者1人当たりの販売額は県や国を大きく下回り、**労働生産性の低さ**が課題です。売上が伸び悩む中で雇用を維持・拡大していることが一因と考えられます。DX導入による業務効率化はもちろん、接客スキル向上や高単価商品の取り扱いなど、客単価を上げる**高付加価値サービス**の提供による収益改善が必要です。

項目	恵那市	県(平均)	全国(平均)
商業年間商品販売額	734億円	県平均 1,025億円	全国平均3,001億円
県内・全国順位	県内14位 / 全国588位	全42市町村	全1,741自治体
従業者1人当たり	1,994万円	県平均 2,972万円	全国平均5,442万円

出典：2020年の総務省による統計ダッシュボード調査データ再編

# 観光客数と宿泊の動向



## 観光入込客数

観光入込客数は回復傾向にあります。過去のテレビドラマ効果等もありましたが、重要なのはブームに依存せず継続的な**集客力を維持**することです。既存資源の磨き上げやリピーターを増やすイベント開催、情報発信の強化など、常に新しい話題を提供し続けることで安定した観光客数を確保する**観光地経営**が求められます。

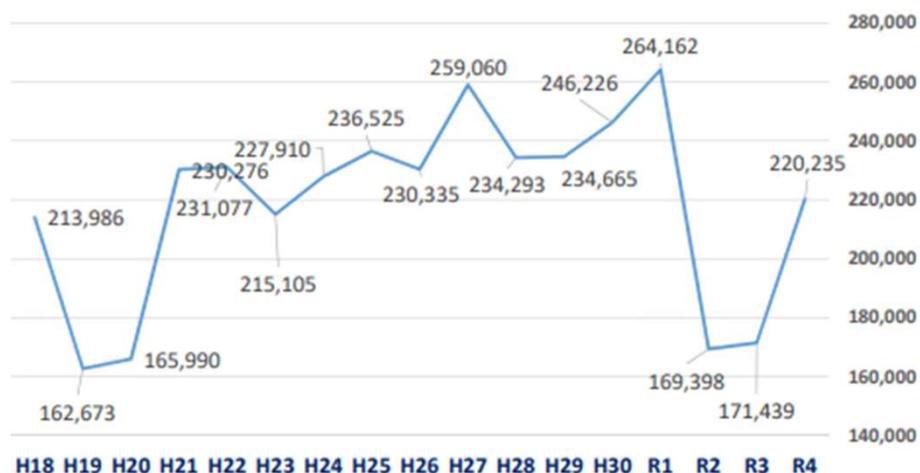
恵那市の観光入込客数



## 宿泊客数

入込客数に対し**宿泊客数の回復**は遅れています。日帰り主体で滞在時間が短く、地域にお金が落ちにくい構造です。経済波及効果の最大化には、夜間コンテンツ造成や魅力的な宿泊プラン提案など、観光客に「泊まりたい」と思わせる動機付けを行い、**宿泊滞在**を強力に促す仕組みづくりが必要です。

恵那市 宿泊客数推移



出典：恵那市観光統計調査

# 観光形態別分析

## 観光地分類別（周遊・滞在）

「道の駅」利用などの立ち寄り型が圧倒的多数で、多くの客が休憩利用のみで通過している可能性があります。単なる通過点に終わらせず、ここを目的に訪れる目的地とするため、体験型プログラムの充実や周遊ルートの提案などを行い、短時間の立ち寄りから時間をかけて楽しむ滞在型観光地への脱皮を図る必要があります。

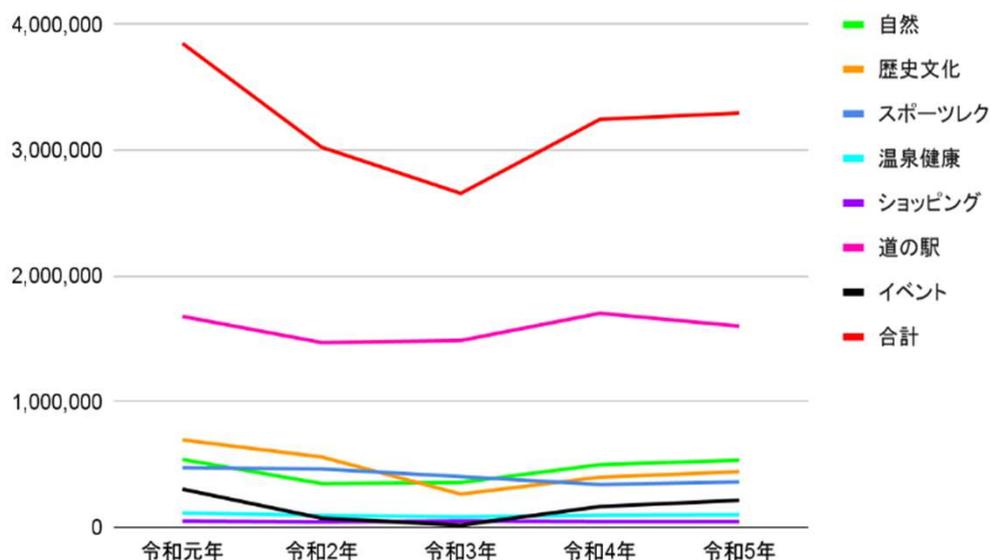
令和5年度 観光地分類別観光客の割合



## 観光地分類別観光客数推移

周遊型は戻りつつありますが、経済効果の高い滞在型観光客は横ばいです。観光の恩恵を地域全体に広げるため、恵那の自然・食・歴史を深く体験できるコンテンツ開発が不可欠です。見るだけの観光から、体験し味わう「消費される観光」への質的転換を図り、一人当たり消費額の増大を目指すことが課題です。

(R1-R5) 恵那市観光地分類別観光客数推移



# 恵那市の各産業のまとめ



## 地域特性と課題の総括

分野	現状と課題
 立地	リニア開通による <b>アクセス向上</b> の好機。通過点ではなく、人や情報が集まる産業拠点の <b>基盤強化</b> が必要。
 人口	少子高齢化と <b>若年層の流出</b> が顕著。社会基盤維持のため、若者が定住したくなる <b>魅力ある環境整備</b> が急務。
 産業	雇用は回復基調だが <b>人手不足</b> が深刻。創業率低迷や後継者不足に対し、 <b>事業承継</b> と創業支援の両立が必要。
 製造	基幹産業だが <b>素材加工型</b> が多く市況に左右される。付加価値率低下を防ぐ <b>技術革新</b> と <b>高付加価値化</b> が課題。
 商業	雇用は堅調だが <b>販売額</b> と <b>生産性</b> が低迷。市外への消費流出を防ぐ、 <b>魅力ある店舗づくり</b> とDX化が求められる。
 観光	集客は回復傾向だが <b>日帰り・立ち寄り型</b> が主体。経済効果を高めるため、宿泊を伴う <b>滞在型観光</b> への転換が鍵。



## 今後の方向性

人口減少下においても地域の豊かさを維持するため、自治体として「**稼ぐ力（生産性向上）**」と「**多様な人材の確保・定着**」が求められています。

具体的には、DXによる業務効率化や地域資源を活かした**高付加価値化**を支援し、稼いだ富が地域内で回る仕組みを作ります。また、事業承継支援や多様な働き方の整備により**産業の担い手**を確保し、リニア開通の好機を活かした**持続可能な経済構造**を構築します。

第3次恵那市産業振興ビジョン

産業現場の  
声から探る  
恵那市の  
可能性と課題

# 恵那市の事業者が考える 産業の現状と課題



## 現場の声を聞く

恵那市では、産業振興ビジョンの策定にあたり、現状に即した実効性の高い計画とするため、市内事業者の声を反映する体制を構築しました。

その一環として、商業・観光・工業など多様な分野に携わる市内事業者で構成する『恵那市産業振興ビジョン戦略策定部会』を設置し、地域産業の現状や課題、今後進むべき方向性について議論を重ねてきました。

## 恵那市産業の課題について



### 01 人材・雇用



#### 人材不足・流出

- 高校の「一人一社制」や成績順就職によるミスマッチ
- 高卒就職者の離職率の高さ（インターンシップなどの活用推進）
- Uターン・Iターン希望者に魅力的な就職先が少ない
- 高所得や魅力的な企業などの雇用機会が少ない
- 所得以外のモチベーションなどキャリア教育が不十分
- 外からの人材だけに頼らず、地元の人活躍できる場の創出



#### 後継者不在

- 製造業や伝統工芸の熟練技能者の引退
- 技能伝承の仕組み・制度の不足
- シニア人材の活用が制度面で不十分  
(シニア層の人材マッチング)



#### 技能継承の遅れ

- 中小企業や商店での後継者不足  
(空き店舗などを放置しない仕組み不足)
- 廃業の増加による地域経済の縮小



## 02 市場・販路

### 📉 販売先の減少

- 取引先依存度が高く、新規顧客開拓が進まない  
(専門性とのジレンマ)
- 市内小売業・飲食業の売上減少  
(生活必需品以外のサービスなどが顕著)

### 🌐 海外展開の難しさ

- インバウンド観光は一部のみで  
活用されており、地域全体への波及が少ない
- 製造・農産品の輸出ルート開拓が難航
- インバウンド対策の遅れ  
(行政施策や営業時間延長など)

### ★ ブランド力不足

- 地域産品・企業技術の知名度不足
- 「恵那らしさ」を活かした商品・観光ブランドの不足
- 企業自身のPRや商品ストーリー発信が弱い
- 恵那市の魅力ある観光資源のPRが不十分



## 03 技術・設備・投資

### ⚙️ 老朽化設備

- 製造・加工機械の更新が  
資金負担で遅れている
- 老朽化による生産効率低下
- 宿泊施設不足

### 📺 DX未導入

- 業務効率化・情報共有のための  
IT導入が遅れている
- SNS・ECサイトなど  
デジタル販路活用やノウハウの不足

### 💡 新たな取り組みへの遅れ

- 新製品開発に必要な技術導入が進まない
- 研究開発や試作の環境不足
- 研究や知識習得のための資金や人員などのリソース不足
- 新事業や起業・創業を促す動機づけや支援の不足



## 04 資金・経営基盤



### 資金調達難

- コロナ融資返済による資金繰り悪化
- 事業そのものを立て直す本質的な支援の不足
- 設備投資や事業転換資金の確保が難しい



### 経営ノウハウ不足

- 原価計算や価格転嫁のスキル不足
- マーケティング人材や広報担当者の不在
- 長期的な経営戦略策定の支援不足



## 05 連携・ネットワーク



### 異業種交流不足

- 業種を超えたビジネス連携や  
情報共有の場が少ない
- 新規事業創出のためのマッチング機会不足
- 地元企業が協力した観光体験型  
コンテンツの創出の不足



### 産学官連携の弱さ

- 高校・大学との職業体験や共同研究が少ない
- 観光・農業・製造などの産業横断的連携の不足



## 06 地域資源・環境



### 観光資源未活用

- 滞在型観光や体験型観光メニューの不足
- 季節ごとのイベント連動が弱い
- 映画・ドラマロケ地やアウトドア  
資源の活用不足



### 農林水産資源の 低付加価値

- 加工・ブランド化の不足
- 地元産品を活かした新商品・  
高付加価値化が進まない



## 07 制度・規制



### 国や県制度との不整合

- 助成・補助制度が地域の実情やニーズと合わない
- 宿泊業や観光関連の制度が小規模事業者に適合しない
- 簡易手続きでの宿泊業（イベント民泊）のような規制緩和の推進



### 申請負担の大きさ

- 補助金申請の手間や複雑さで小規模事業者が利用できない
- 制度情報が届かず、知らないまま期限を過ぎる事例が多い
- 行政側の支援などの情報発信不足

## 恵那市産業の強みについて



## 01 地理・歴史



## アクセス

- 東名高速道路・中央自動車道・リニア中央新幹線（予定）からのアクセスの良さ
- 名古屋・東京・大阪から3時間圏内で、物流拠点としての可能性
- JR中央線で名古屋へ直通可能



## 物価

- 地価が安く、都市部に比べて住みやすい
- 米や農作物など食料品が安価



## 02 自然・歴史・文化資源



## 自然

- 豊かな自然環境と安定した地盤（自然災害リスクが比較的低い）
- 農村風景や景観美がある



## 歴史・文化

- 中山道や岩村城下町など、欧米観光客にも人気の歴史的街道
- 地域に根付いた多彩な祭礼文化や花火イベント



## 03 多様な観光資源



## 観光素材

- 名所・景観・特産品・鉄道沿線の散策など観光素材が豊富
- SNSやYouTubeでの発信素材として魅力的
- 地域ブランドが確立している（知名度がある）



## 観光の多様性

- ゴルフ観光やハイキング文化との親和性
- 映画やドラマのロケ地としての魅力（ロケツーリズムとしての魅力）



## 04 コミュニティと官民連携



### 地域コミュニティ活躍

- 地域の協力体制が強く、イベント時の連携がスムーズ
- 青年団や消防団などの活動が活発



### 官民連携

- 行政と市民の距離が近く、意見を言いやすい土壌



## 05 住環境・子育て支援



### 住環境

- 家賃・土地価格が安く、移住者が増加傾向
- 高所得層のリモートワーク移住需要も高い



### 子育て支援

- 無料家事支援など、質の高い子育て支援サービスがある



## 06 人材・雇用



### 人材

- 働く意欲のある高齢者が多く、知識・経験を活かせる可能性
- 地域外で活躍する人材との連携の可能性あり



### 雇用

- 移住者受け入れの土壌がある
- 地元企業の雇用力が高い



第3次恵那市産業振興ビジョン

**恵那市の  
産業が  
目指す姿**



## 恵那市の産業が目指す姿

### 第3次恵那市産業振興ビジョンにおける、恵那市の産業が『目指す姿』

本産業振興ビジョンは、上位計画である「恵那市みらいビジョン2045」において定められた将来像『自然とともにひととまちが輝く活力あふれる恵那』の実現に向けて策定しています。

この将来像は、市民の皆さまから寄せられた「豊かな自然との共生」「子育てや老後の安心」といった希望に加え、特に若い世代からの「産業・観光の発展」や「まちの活性化」への強い期待を反映して描かれたものです。

こうした市民の思いや地域の特性を踏まえ、第3次恵那市産業振興ビジョンでは、産業の『目指す姿』として、第2次ビジョンから引き続き

## 稼ぐ力の強い、 持続する地域産業の形成

を掲げ、地域の魅力を最大限に活かした産業の成長と、誰もが安心して働き、暮らせるまちづくりを推進していきます。

## 活力・魅力を生み出すまちにするために（恵那市みらいビジョン2045より）

### 1 産業振興の推進

■地域の経済団体などの関係機関と連携し、市内事業所の経営改善や販路開拓、事業承継等の取り組みを支援することで、市内の産業振興を図ります。

【施策方針】

- 多様な連携によるイノベーションの促進
- 事業継承支援
- 経営基盤の強化
- 販路開拓
- 業務効率化

■新産業の創出による地域課題の解決や、雇用の確保のため、起業・創業を支援します。

【施策方針】

- 新事業・スタートアップ創業支援
- 地域課題解決型事業の促進
- 産業の担い手育成・確保

■空き店舗の活用や商店街でのイベント開催の支援などを通して商店街の賑わいの創出に取り組みます。

【施策方針】

- 事業承継支援
- 地域資源のブラッシュアップ
- 市場拡大支援

■地域通貨などの導入による地元消費の拡大と、食のブランディングによる地域経済の活性化を図ります。

【施策方針】

- 恵那市のブランド戦略・差別化施策
- 市場拡大支援

## 2 雇用対策・企業誘致の推進

■労働者の福利厚生を促進し、生活の安定を図ります。

**【施策方針】**

→働くくらし支援の充実

■経済団体、学校、関係自治体などと連携し、市内企業への就労支援や労働力確保のための雇用対策事業を行います。

**【施策方針】**

→産業の担い手育成・確保

→多様な人材が活躍できる環境支援

■年齢、性別、障がいの有無、家族の状況に関わらず、誰もが希望する働き方を実現できる環境を整備します。

**【施策方針】**

→多様な人材が活躍できる環境支援

→働くくらし支援の充実

■市内事業所の事業拡大の支援を通して、雇用対策に向けた取り組みを開催します。

**【施策方針】**

→新事業・スタートアップ創業支援

→産業の担い手育成・確保

→多様な人材が活躍できる環境支援

→働くくらし支援の充実

■リニア開業を見据え、サテライトオフィスやリモートワークなどの新しい働き方の創出と企業誘致の推進を図るとともに、新たな、事業用地の確保に取り組みます。

**【施策方針】**

→挑戦を広げる企業誘致

→産業の担い手育成・確保

→多様な人材が活躍できる環境支援

## 3 観光振興の推進

- 観光客の市内滞在時間延長に向けて、施設や店舗の魅力を磨き、賑わい創出の拠点を整備します。

### 【施策方針】

- 地域資源のブラッシュアップ
- 市場拡大支援

- リニア開業を見据え、広域観光連携を強化することで観光客を増やすとともに、多様性・多面性のある観光地づくりを進めます。

### 【施策方針】

- 多様な連携によるイノベーションの促進
- 販路開拓
- 恵那市のブランド戦略・差別化施策とPR
- グローバル化支援

- 恵那市ならではの自然や歴史を活かしたアウトドアレジャーと歴史観光を推進します。  
恵那市のブランド戦略・差別化施策とPR

### 【施策方針】

- 地域資源のブラッシュアップ
- 恵那市のブランド戦略・差別化施策とPR

- 交流人口拡大と地域活性化を図るため、SLなどの産業遺産を活用したまちづくりを推進します。

### 【施策方針】

- 販路開拓
- 恵那市のブランド戦略・差別化施策とPR

第3次恵那市産業振興ビジョン

施策の  
方向性と  
具体的な  
取り組み

## 恵那市の産業が目指す姿

# 稼ぐ力の強い、

### 基本方針

### 施策

**1**  
挑戦を  
後押しする  
環境の整備

「恵那発」創業・新事業チャレンジによる地域内イノベーション創出  
産業・地域の垣根を超えた「連携」による新価値創造  
「持続可能な恵那」をつくる地域課題解決型ビジネスの振興  
地域資源を世界へ発信するグローバル戦略推進  
リニア・資源を活かす「次世代産業」集積と産業基盤の創造

**2**  
持続可能で  
強靱な  
中小企業  
の支援

稼ぐ力の向上と強靱な経営体質の確立  
経営情報の提供と多様な資金調達の促進  
円滑な事業承継と「第二創業」の促進  
中小企業DXによる生産性向上とビジネスモデル変革

**3**  
人が集まり  
活躍できる  
地域づくり

「恵那で働く・暮らす」誇りを育む産業人材の育成・確保  
多様な個性が輝く誰もが活躍できる就労環境の整備  
あらゆるライフステージで安全な生活環境を支えるくらし支援

**4**  
地域資源を  
活かした  
独自価値の  
強化と発信

誘客消費の最大化と地域資源の広域販路確立  
歴史・食・自然を磨き上げる「滞在したくなる恵那」の創造  
恵那市の「ブランド価値」の明確化と  
戦略的な広報・プロモーションの推進

# 持続する地域産業の形成

## 具体的な取組

① 広域市場・新規事業参入促進      ② 起業・イノベーション人材育成      ③ 創業・新事業支援インフラ整備

① 産業間・地域間連携基盤の構築      ② 産学官連携によるイノベーション加速  
③ 地域連携とマーケティング強化      ④ 広域観光ルートの形成

① データ活用による課題解決基盤の整備      ② 課題解決型イノベーション促進      ③ 地域課題解決型新事業の創出支援

① 海外市場進出推進      ② インバウンド向けプロモーション  
③ インバウンド向けインフラ整備      ④ インバウンド観光向けの多言語対応プログラム

① リニア・資源を活かす「未来実装フィールド」の形成      ② 共創型企業誘致の推進      ③ 企業参入環境の整備  
④ 次世代産業を呼び込む基盤整備      ⑤ 持続可能な地域物流網の構築と次世代産業基盤整備      ⑥ 宿泊施設誘致の強化

① 経営診断・改善計画策定      ② 経営改善研修・実践セミナー      ③ 経営資源の共有と再構築  
④ レジリエンス強化とリスク対策      ⑤ 脱炭素経営（GX）移行推進      ⑥ 産業の構造変化対応推進

① 創業・経営資金ワンストップ相談窓口      ② 地域企業向けクラウドファンディング活用推進  
③ 補助金・助成金情報発信 & 申請サポート事業

① 後継者育成・承継支援の強化      ② 事業承継マッチングによる第2創業・アトツギベンチャー推進  
③ 事業承継実態把握と課題の可視化

① DX推進体制の整備      ② デジタル技術ロボティクス導入・業務効率・省人化推進  
③ デジタル活用による販路拡大・経営強化      ④ DXによる事業再構築・新事業創出

① 移住・定住促進と多様な人材確保      ② 若者の地域定着とキャリア形成

① 【女性・子育て世代】仕事と家庭の両立の後押し      ② 【シニア】経験を活かした活躍推進  
③ 【全世代】柔軟で働きやすい環境づくり      ④ 【障がい者】個性を活かした就労・定着の後押し  
⑤ 【全世代】キャリア形成とスキル再構築促進      ⑥ 包摂的な雇用と多文化共生

① 住環境・生活基盤の充実      ② 働きやすい環境づくり  
③ 健康とワークライフバランスの推進      ④ 若者定着のための地域魅力化戦略

① 販路拡大促進      ② 地域経済循環とにぎわい創出      ③ 宿泊施設のマーケティング強化  
④ 観光施設や商業施設との連携強化      ⑤ 地域連携消費促進プログラム      ⑥ 地域共感型・文化継承ファンディング事業

① 体験型滞在の充実      ② 宿泊施設の質向上      ③ ロケツーリズム推進      ④ 産業遺産を活用した観光推進  
⑤ 観光商品パッケージ化      ⑥ 文化・歴史観光の推進      ⑦ 食と農業体験観光の強化

① 地域ブランド価値の向上（高付加価値化）      ② 地域ブランド商品開発  
③ 情報発信・PR戦略の強化      ④ 観光客誘致と消費をつなげるプロモーション

# 挑戦を 後押しする 環境の整備

「恵那発」の創業や新事業への挑戦を促すため、インキュベーション機能の強化やスタートアップ人材の育成、資金調達支援を一体的に展開します。また、産業や地域の枠を超えた「連携」や「データ活用」により、地域課題を解決するイノベーションを創出。さらに、縮小する国内市場を見据えた海外展開やインバウンド誘客を支援するとともに、リニア開業のインパクトを最大限に活かし、グリーン・テックや次世代モビリティなどの先端産業を集積・誘致することで、未来に向けた新たな産業基盤とイノベーション・フィールドを形成します。

## 施策

### 01

#### 「恵那発チャレンジ」推進と創業・第二創業による地域内イノベーション創出

創業・新事業への挑戦を促すため、インキュベーション機能や資金支援を一体的に展開。多様な主体の起業を後押しし、地域経済に活力を生むイノベーション拠点を形成します。

### 02

#### 産業・地域の垣根を超えた「連携」による新価値創造

産業や地域の枠を超えた連携を促進し、新たなビジネス機会を創出。産学官金連携やオープンイノベーションによる新商品開発を通じ、相乗効果による価値創造を目指します。

### 03

#### 「持続可能な恵那」をつくるソーシャルビジネスの振興

地域課題解決をビジネス好機と捉え、社会的・経済的価値を両立する事業を育成。実証フィールド提供やデータ活用を通じ、持続可能な地域づくりに貢献する事業を創出します。

### 04

#### 地域資源を世界へ発信するグローバル戦略支援

縮小する国内市場を見据え、海外販路開拓やインバウンド誘客を強化。越境EC活用や受入環境整備を支援し、恵那の魅力の世界へ発信して外貨獲得と地域経済活性化を図ります。

### 05

#### リニア・資源を活かす「次世代産業」集積と産業基盤の創造

リニア開業の優位性を活かし、環境・エネルギー等の成長産業や先端技術の実証フィールドを集積。東京・名古屋と直結する次世代の産業拠点を形成します。

## I 挑戦を後押しする環境の整備

## 施策

01 「恵那発」創業・新事業チャレンジによる  
地域内イノベーション創出

## ① 広域市場・新規事業参入促進

リニア開業効果を最大限に活かし、首都圏など広域市場への販路開拓や新ビジネス創出を加速。駅からの二次交通整備や、創業から事業化までの一貫した伴走支援を行い、市内産業の新たな挑戦を促進。

## 【事業】

- 『恵那から東京へ』広域市場・新ビジネス加速化事業
- リニア駅からのラストワンマイル交通事業
- 広域新市場とフードテックを活かした恵那産品の新商品開発・販路拡大事業
- 恵那市商工振興補助金  
(恵那ブランド新商品開発支援事業/企業展等出展支援事業/事業拡大支援事業/新事業チャレンジ応援事業)
- 恵那くらしビジネスサポートセンター事業  
(新商品開発セミナー/伴走支援)

## ② 起業・イノベーション人材育成

起業家教育やアントレプレナーシップ研修を通じて、地域のイノベーション人材を育成創業に必要な知識・スキルを体系的に提供し、持続的なスタートアップエコシステムを形成。

## 【事業】

- 学生向けアントレプレナー教育・起業体験プログラム
- 地域企業・社会人向け新事業創出  
「イノベーション人材育成ブートキャンプ」
- 恵那市商工振興補助金(起業支援事業)
- ビジネスサポートセンター各種研修(創業セミナー/スタートアップミーティング)
- スタートアップ支援企業との既存連携協定  
強化推進事業

## ③ 創業・新事業支援インフラ整備

創業・新事業資金調達(融資、クラウドファンディング等)を支援する仕組みの強化。許認可・税務・労務などを一括で相談できるワンストップ窓口の設置による事業開始の円滑化。

## 【事業】

- 創業初期の経営・実務を支える  
「スタートアップ伴走支援プログラム」
- 創業手続き迅速化のための  
「創業・許認可ワンストップ窓口」拡充
- えなブランド認定などと連携した  
「新事業クラウドファンディング活用支援事業」
- 恵那市商工振興補助金(起業支援事業)
- 恵那くらしビジネスサポートセンター相談窓口

## I 挑戦を後押しする環境の整備

## 施策

## 02 産業・地域の垣根を超えた「連携」による新価値創造

## ① 産業間・地域間連携基盤の構築

異業種や地域内外の企業間ネットワーク形成を支援し、広域的な資源や強みを活用した共同プロジェクトを推進。

## 【事業】

- 食・観光・製造・IT等の異業種交流フォーラム  
およびネットワーク形成
- 五平餅ブランドを核とした食品・観光・  
EC連携商品開発コンソーシアム
- 恵那・中津川・三河連携  
「広域食文化フェスティバル」開催
- 恵那市内異業種連携製品サービス開発
- 恵那くらしビジネスサポートセンター事業の  
オンライン化による広域事業者マッチング
- 恵那市SDGs推進協議会事業
- 企業連携開発事業補助金
- ビジネスマッチング事業（Bizサポ）
- 恵那市商工振興金事業（マッチング支援事業）
- 出張企業説明会
- 恵那市商工振興補助金（企業連携開発事業）

## ② 産学官連携によるイノベーション加速

企業・大学・行政を結ぶ協働体制を強化、研究開発や新事業創出に向けた連携プラットフォームの整備。

## 【事業】

- 地域資源（水資源・農産物・観光）活用テーマ型「大学共同研究拠点（恵那モデル）」設置
- 新電力・観光DX・農業IoT等の実証を目的とした地域課題解決型インターンシップ

③ 地域連携とマーケティング強化 観光ビジョン

創業・新事業資金調達（融資、クラウドファンディング等）を支援する仕組みの強化。許認可・税務・労務などを一括で相談できるワンストップ窓口の設置による事業開始の円滑化。

## 【事業】

- 広域的な観光プログラムの提供
- 観光客データの収集と分析を強化

④ 広域観光ルートの形成 観光ビジョン

リニア開業の好機を捉え、広域的な観光周遊ルートの構築と二次交通の整備により、新たな人の流れを創出。

## 【事業】

- リニア開業を見据えた、将来の広域観光ルート形成に向けた準備

## I 挑戦を後押しする環境の整備

# 03 施策

## 「持続可能な恵那」をつくる 地域課題解決型ビジネスの振興

### ① データ活用による課題解決基盤の整備

行政データや地域資源データの収集・可視化・共有を推進、地域課題解決型ビジネスへのデータ提供を通じて、事業創出を支援。

#### 【事業】

- 空き店舗・観光・交通情報の「恵那市オープンデータプラットフォーム」構築
- 岐阜県観光人流データ分析活用事業（ジバスクラム恵那）※一般社団法人ジバスクラム恵那
- 事業者向けGIS活用「地域課題マップ（空き店舗・人口動態・観光動線）」作成
- 産学官「民」連携による「東美濃・恵那データ連携協議会」設立

### ② 課題解決型イノベーション促進

地域課題をテーマにしたビジネスコンテストの開催、実証実験フィールドの整備により、試行・検証の場を提供。

#### 【事業】

- 企業・自治体・大学協働「恵那市スタートアップ共創プロジェクト」
- 外部企業によるソリューション提案型「企業×自治体」課題解決ピッチイベント
- 若者が企画・運営する「テーマ型」空き店舗共同活用プロジェクト
- 人流データ収集とキャッシュレス化による「スマート商店街実証プロジェクト」

### ③ 地域課題解決型新事業の創出支援

課題解決型ビジネスの事業化・成長を後押しする支援制度の構築。

#### 【事業】

- 空き店舗活用（カフェ・コワーキング・観光DX等）支援
- 商店街空き店舗活用・出店促進支援事業（商店街振興組合）
- 地域課題解決型スタートアップ補助金事業
- 恵那市商工振興補助金（地域課題解決型事業）

## I 挑戦を後押しする環境の整備

# 04 施策 地域資源を世界へ発信するグローバル戦略推進

## ① 海外市場進出推進 観光ビジョン

地域企業の海外販路拡大を支援（越境EC、輸出促進）、国際ビジネス展開に必要な情報・ノウハウ提供。

### 【事業】

- ジバスクラム恵那による国外EC向け  
「共同カート&共同出荷」
- 地域特産品（五平餅・農産加工品）海外販売用  
「恵那ブランド越境ECモール」構築
- 海外ECサイト（Amazon/Shopee等）  
出店費用支援「海外向けEC出店補助金」
- 日本貿易振興機構（JETRO）連携強化
- 恵那市商工振興補助金ECサイト海外対応事業

## ② インバウンド向けプロモーション 観光ビジョン

特産品や観光資源を活用した国際PR活動、海外メディア・SNSを活用したブランド戦略の推進。

### 【事業】

- 岐阜未来遺産認定等を活かし、海外市場に向けた観光プロモーションの強化
- インフルエンサーとの連携によるSNS発信強化
- ターゲット国別プロモーションの実施
- VR体験等をSNSやオンラインで発信し、訪日前に魅力を体験できる仕組みとして活用

## ③ インバウンド向けインフラ整備 観光ビジョン

インバウンド客の周遊促進に向け、多言語案内やWi-Fi、旧中山道の歩行環境など受入基盤インフラ整備。

### 【事業】

- 観光地内や観光施設で、多言語対応の案内を提供
- 観光地内や観光施設で無料Wi-Fi環境を整備

## ④ インバウンド観光向けの多言語対応プログラム 観光ビジョン

インバウンド客の周遊促進に向け、多言語案内やWi-Fi、旧中山道の歩行環境など受入基盤を整備。

### 【事業】

- インバウンド観光客向けにモニターツアーを実施
- 多言語ガイドの育成と  
インバウンド観光客対応体制の強化

## I 挑戦を後押しする環境の整備

## 施策

05 リニア・資源を活かす  
「次世代産業」集積と産業基盤の創造

## ① リニア・資源を活かす「未来実装フィールド」の形成

リニアアクセスを活用した企業誘致プロモーションにより、地域の立地優位性を発信し、広域からの企業進出を促進。また、地元資源や土地（地盤）セラミック等技術的地盤を活かした環境・エネルギー分野や「未来技術」など成長領域での事業実証フィールド提供を推進。

## 【事業】

- 東京・名古屋アクセスを強調した「リニア中央新幹線開業PRキャンペーン」
- 製造・物流・IT企業対象「リニア関連産業誘致セミナー」開催
- 自然資源活用型の環境・エネルギー分野新事業実証フィールド提供支援
- ドローン・自動運転等『未来技術』実証フィールド開放事業
- リニアや地盤セラミック技術土壌を活かした半導体部品等サプライチェーン企業誘致
- リニア沿線における採石跡地等を活用した宇宙産業実証フィールド形成事業

## ② 共創型企业誘致の推進

市外企業（スタートアップ等）と自治体の共創機会創出、地域課題解決や新事業創出に資する企業との連携強化。

## 【事業】

- 産学官民連携「恵那市スタートアップ共創機会」創出
- 外部企業によるソリューション提案型  
「企業×自治体課題解決ピッチイベント」
- 後継者不足解消と外部誘致を両立する恵那市版  
「事業承継バンク」構築
- テレワーク拠点やデータセンターを対象とした  
「情報サービス産業誘致強化」
- 恵那市商工振興補助金  
(情報サービス産業等立地促進事業)
- 企業誘致推進事業
- 本社機能移転奨励金事業

## ③ 企業参入環境の整備

土地利用や規制に関する参入支援制度の明確化、空き事業所や廃業企業の事業承継を活用した新規企業誘致。

## 【事業】

- 土地利用・規制・補助金を可視化した「企業誘致ガイドライン」策定・公開
- 立地相談から申請まで一括対応する「ワンストップ企業誘致窓口」設置

## 挑戦を後押しする環境の整備

### ④次世代産業を呼び込む基盤整備

スマートIC周辺等での計画的な産業用地開発に加え、奨励金や規制緩和等の支援策を充実。ハード・ソフト両面から企業誘致と事業拡大を促進し、次世代産業が集積する活力ある産業基盤を構築。

#### 【事業】

- スマートIC周辺等への戦略的な産業用地の確保・整備および企業誘致
- 次期工業団地開発事業
- 企業等立地奨励金事業
- 事業拡大支援事業補助金

### ⑤持続可能な地域物流網の構築と次世代産業基盤整備

物流2024年問題克服へ向けた地域企業連携型「共同配送システム」の構築と、次世代産業を呼び込む持続可能で効率的な地域物流インフラの基盤整備。

#### 【事業】

- ※物流2024年問題対応・地域企業連携型「共同配送システム」構築  
※トラックドライバーの時間外労働時間の上限規制

### ⑥宿泊施設誘致の強化 観光ビジョン

空き家改修助成による民泊整備で滞在環境を多様化し、MICEや長期滞在者の誘致を促進し、遊休資産の有効活用による持続可能な地域振興を実現する

#### 【事業】

- 観光地への新たな宿泊施設誘致と滞在型観光の促進
- 滞在型MICE（コンベンション）施設誘致・開発事業
- 空き家改修助成金制度を活用した民泊施設と地域振興
- 地域資源を活かした分散型宿泊モデル（アルベルゴディフーズ）の仕組みづくり

## 2 持続可能で強靱な中小企業の支援

原油高や物価高騰など激変する経営環境に対応するため、専門家派遣や経営診断を通じて、企業の「稼ぐ力」の向上と強靱な経営体質への転換を支援します。デジタル技術（DX）やロボティクス導入による生産性向上、脱炭素経営（GX）への移行を促進すると同時に、地域産業の存続に不可欠な事業承継を早期からサポート。後継者による「第二創業」やアトツギベンチャーを育成し、クラウドファンディング等の多様な資金調達手段の活用もワンストップで支援することで、次世代に続く持続可能な地域産業モデルを構築します。

### 施策

#### 01

##### 稼ぐ力の向上と強靱な経営体質の確立

中小企業の経営基盤強化に向け、専門家による診断や計画策定を支援。脱炭素や環境変化に対応できる強靱な経営体質への転換を促し、高付加価値化により稼ぐ力を向上させます。

#### 02

##### 経営情報の提供と多様な資金調達の促進

経営相談のワンストップ窓口を機能強化。補助金に加え、クラウドファンディング等の多様な資金調達手段を提案・伴走支援し、企業の挑戦を資金面から強力にバックアップします。

#### 03

##### 円滑な事業承継と「第二創業」の促進

地域産業の存続に向け、円滑な事業承継を早期から支援。M&A等も視野に入れ、後継者による新事業展開（第二創業）を促進し、企業の若返りと持続的成長を図ります。

#### 04

##### 中小企業DXによる生産性向上と ビジネスモデル変革

デジタル技術による効率化を足掛かりに、データ活用や人材育成を段階的に支援します。単なる省力化を超え、新事業の創出やビジネスモデル変革を加速させ、中小企業の「稼ぐ力」と付加価値の向上を実現します。

## 2 持続可能で強靱な中小企業の支援

# 01 施策

## 稼ぐ力の向上と強靱な経営体質の確立

### ① 経営診断・改善計画策定

中小企業診断士や専門家による経営診断を実施し、改善計画を策定。商工会議所や専門家派遣制度を活用し、財務分析・コスト管理・販路戦略など総合診断を実施。

#### 【事業】

- 補助金・研修・支援を一括検索できる  
「行政支援メニュー統合ポータルサイト」構築
- コスト管理・広報等  
「経営改善ワンストップ相談」支援強化
- 恵那くらしビジネスサポートセンター事業  
(各種関相談実施)
- 商工会議所、商工会事業補助金

### ② 経営改善研修・実践セミナー

コスト削減、広報戦略、原価管理などテーマ別研修を開催。実践的なワークショップ形式で、地域企業同士の事例共有も実施。地元金融機関や商工会議所等と連携し、オンライン含めた多様な形式で実施。

#### 【事業】

- 小規模事業者向け実践型  
「コスト管理・広報戦略セミナー」
- 売上・利益率等の指標に基づく「経営指標活用研修」
- 恵那くらしビジネスサポートセンター事業  
(個別相談・セミナー等)
- (再掲) 商工会議所、商工会事業補助金

### ③ 経営資源の共有と再構築

産業インフラの共同利用・シェアリング促進や事業再構築による企業の持続性確保。

#### 【事業】

- 空き工場・設備シェアリングによる「共同利用型産業インフラ整備」
- 災害時活用も想定した「地域内物流・倉庫シェアリングネットワーク」構築

## 2 持続可能で強靱な中小企業の支援

## ④ レジリエンス強化とリスク対策

BCP策定やサイバー対策等の伴走支援と、非常用電源導入補助やマイクログリッド検討等のハード整備を両輪とし、地域企業の事業継続力と災害への強靱化を推進。

## 【事業】

- 中小企業向け事業継続計画「BCP策定支援プログラム」
- 取引依存度分析に基づく「サプライチェーン可視化・代替調達マッチング」
- 災害時事業継続支援「非常用電源・蓄電池導入補助制度」
- 地域マイクログリッド（小規模電力網）検討プロジェクト
- 事業継続力強化計画策定支援（恵那商工会議所／恵南商工会／ビジネスサポートセンター）
- 恵那市商工振興補助金（防災機能整備支援事業）
- 恵那くらしビジネスサポートセンター事業（サイバーセキュリティセミナー）

## ⑤ 脱炭素経営（GX）移行推進

設備更新と再エネ導入を促進し、脱炭素経営に向けた伴走支援を組み合わせ、地域製造業のGX移行と生産性向上を一体的に推進。

## 【事業】

- 製造現場における省エネ設備導入・再エネ活用への助成・伴奏支援
- 恵那市商工振興補助金（省エネルギー設備導入支援事業）

## ⑥ 産業の構造変化対応推進

EV化等の構造変化に対応するため、試作・開発を助成。リスクを伴う新分野進出を後押しし、地域産業の持続的発展と競争力を強化。

## 【事業】

- EV化等・新分野進出を目指す企業の技術開発・試作開発支援
- 恵那市商工振興補助金（新事業チャレンジ応援事業）

## 2 持続可能で強靱な中小企業の支援

# 02 施策

## 経営情報の提供と多様な資金調達の促進

### ① 創業・経営資金ワンストップ相談窓口

専門相談窓口を設置し、金融機関・信用保証協会・商工会と連携して融資、補助金、クラウドファンディングなどの情報を一括提供。既存人員＋専門家派遣で創業者・既存企業の資金調達課題を早期解決。

#### 【事業】

- 融資・補助金・保証を一括案内する  
「地域版資金調達ワンストップ窓口」強化
- 補助金・融資申請書作成サポートプログラム
- 小規模事業者向け「小口融資保証料補助の上限引き上げ」
- 創業者・業態転換企業も対象とした  
「マル経融資利子補給の対象拡大」
- 災害対策時即時対応型「災害時事業継続資金緊急融資枠」
- 事業性融資の推進等に関する法律への対応支援
- （再掲）商工会議所、商工会事業補助金
- 中小企業小口融資事業
- マル経融資利子補給金
- 小口融資保証料補給金
- 恵那くらしビジネスサポートセンター事業  
（個別相談＋税務相談会）

### ② 地域企業向けクラウドファンディング活用推進

恵那市ブランドや地域資源を活かした商品・サービスの資金調達をクラウドファンディングで支援。プラットフォームとの連携やプロジェクト企画サポートを実施。わずかな初期費用で（外部プラットフォーム活用）地域外からの資金流入＋PR効果を期待。

#### 【事業】

- 地域住民参加型の商品開発・設備投資  
「地域クラウドファンディング活用支援」
- 地域内取引信用情報を活用した「金融機関連携  
サプライチェーン資金調達仕組みづくり」
- ふるさと納税を活用したクラウドファンディング  
商品開発事業

### ③ 補助金・助成金情報発信＆申請サポート事業

国・県・市の補助金情報を集約し、ウェブ・セミナーで発信。申請書作成支援や専門家によるアドバイスを提供。デジタル発信＋オンライン相談で効率化。

#### 【事業】

- 融資・補助金・保証制度一括検索  
「資金調達支援ポータルサイト」構築
- 最新制度情報を共有する  
「金融機関・商工会・行政連携相談会」
- （再掲）商工会議所、商工会事業補助金
- 恵那くらしビジネスサポートセンター事業（個別相談）
- 中部経済産業局補助金セミナー相談会

## 2 持続可能で強靱な中小企業の支援

# 03 施策

## 円滑な事業承継と「第二創業」の促進

### ① 後継者育成・承継支援の強化

地域企業の後継者育成と事業承継支援、地域内外を問わない後継者人材育成プログラムの推進。

#### 【事業】

- 承継リスク企業に対する「事業承継・引継ぎ支援センター連携プッシュ型プログラム」
- 従業員承継・親族内承継向け「資金スキームガイド提供・実務手続支援」
- 承継後の労務・財務安定化を図る「承継後100日伴走支援」
- デジタル地域通貨検討事業
- 恵那暮らしビジネスサポートセンター事業（承継支援相談支援）

### ② 事業承継マッチングによる第二創業・アトツギベンチャー推進

空き店舗活用や事業承継希望企業のマッチング促進、承継に伴う経営資源の有効活用を支援。

#### 【事業】

- 空き店舗・休眠事業情報の匿名掲載・商談会「恵那承継バンク」運用
- 事業承継・地域波及型再生支援プログラム
- アトツギベンチャー支援プログラム
- 岐阜県事業承継・引継ぎ支援センター連携事業

### ③ 事業承継実態把握と課題の可視化

市内事業者の実態調査と課題の見える化、承継リスクの早期把握による対策強化。

#### 【事業】

- 商工会議所等連携による「市内事業者承継実態把握・課題可視化サーベイ」
- 市内事業所事業承継実態調査事業

## 2 持続可能で強靱な中小企業の支援

# 04 施策 中小企業DXによる生産性向上と ビジネスモデル変革

## ① DX推進体制の整備

行政主導のDXセミナー・研修の開催、デジタル人材育成支援。（地域・都市圏リモート人材活用含む）

### 【事業】

- 業務別（会計・在庫・電子契約）クラウド移行実践研修「恵那DXスタートライン」
- 導入計画策定支援「DX外来（オンラインクリニック）」
- 工業団地・商店街等への出張型業務棚卸会「DXキャラバン」
- 恵那くらしビジネスサポートセンター事業（DX化推進セミナー／ECショップ・IT活用セミナー／WEB集客分析セミナー）
- 副業専門人材マッチング（リモート業務支援）事業

## ② デジタル技術ロボティクス導入・業務効率・省人化推進

中小企業向けバックオフィスDX支援（人的支援）、デジタル技術導入支援や自治体・民間のBtoB活用促進。

### 【事業】

- デジタルツール導入「お試し」支援事業
- 業務フロー標準化・マニュアル作成支援「バックオフィスDX伴走チーム」
- 社内推進リーダー育成・認定制度「DX推進リーダー認定（市版）」
- 行政手続き（請求・納品）のデジタル標準化による「自治体×民間BtoBデジタル導入モデル」
- 取引・客単価可視化ダッシュボード試行「電子商品券×地域通貨DX」
- 恵那市商工振興補助金（デジタル化支援事業補助金）
- 電子商品券事業
- 恵那くらしビジネスサポートセンター事業（DX化伴走支援）

## ③ デジタル活用による販路拡大・経営強化

SNSやECサイトを活用した販路拡大支援、データ活用型経営支援、クラウドファンディング支援。

### 【事業】

- 売上・客数等を可視化する「簡易データ活用ダッシュボード提供」
- 受注・在庫・配送連携の標準手順書提供「SNS・EC運用DX（ノーコード連携）」
- 恵那市プレミアム付電子商品券事業
- 恵那くらしビジネスサポートセンター事業（EC立ち上げ運用個別支援相談・セミナー）
- （再掲）デジタル地域通貨検討事業

## 2 持続可能で強靱な中小企業の支援

### ④ DXによる事業再構築・新事業創出

単なる業務効率化にとどまらず、DXを活用して既存事業の付加価値を高め、新規事業を生み出す取り組みを支援。

#### 【事業】

- 既存事業デジタル化と新サービス開発支援  
「DXビジネス再構築補助金」
- 異業種（製造×観光等）×DX専門家による  
「DX共創ワークショップ」
- 恵那くらしビジネスサポートセンター事業  
（DX推進支援セミナー）
- 恵那市商工振興補助金（デジタル化支援事業）

## 3 人が集まり 活躍できる 地域づくり

地域産業の担い手を確保するため、若者に対する魅力的なキャリア教育やインターンシップを拡充し、地元定着とUIJターンを促進します。また、女性、シニア、障がい者、外国人など、多様な人材が個性を活かして活躍できる包摂的な就労環境を整備。テレワーク等の柔軟な働き方の推進や、ハラスメント対策、健康経営の普及に加え、子育て・介護と仕事が両立できる生活インフラや住環境の充実を図ることで、あらゆるライフステージにおいて市民が安全に暮らし、誇りを持って働き続けられる地域社会を実現します。

### 施策

#### 01

「恵那で働く・暮らす」誇りを育む  
産業人材の育成・確保

地域産業の担い手を確保するため、キャリア教育や企業の魅力発信を強化。インターンシップ充実やUIJターン促進を通じ、恵那で働きたいと思える環境と誇りを醸成します。

#### 02

多様な個性が輝くインクルーシブな  
就労環境の整備

女性、高齢者、障がい者など多様な人材が活躍できる環境を整備。働き方改革やハラスメント対策を推進し、誰もが安心して働き続けられる職場づくりを企業と共に進めます。

#### 03

あらゆるライフステージで安全な  
生活環境を支えるくらし支援

子育てや介護と仕事が両立できる環境整備を支援し、ワーク・ライフ・バランスを実現。生活インフラ維持や安心できる職場づくりを通じ、市民の暮らしと産業の土台を支えます。

## 3 人が集まり活躍できる地域づくり

施策

01 「恵那で働く・暮らす」誇りを育む  
産業人材の育成・確保

## ① 移住・定住促進と多様な外部人材確保

「住まいと仕事」の一体型支援による移住促進と、高度なスキルを持つ外部人材の「シェアリング（副業活用）」を推進。市内企業が必要とする即戦力を多様な形で確保し、持続可能な産業基盤を強化。

## 【事業】

- リニア圏・外部専門人材マッチング支援事業（副業・兼業型）
- 恵那暮らし実現に向けた「仕事・住居」セット支援事業
- 特定の趣味・価値観等の層を狙った「ライフスタイル提案型」働く暮らし移住促進
- 恵那市商工振興補助金（副業人材活用支援事業）
- 副業人材活用マッチングトライアル事業（恵那市商工振興補助適用）
- 求人情報発信支援事業補助金（雇用対策事業）
- 人材確保支援事業補助金（雇用対策事業）

## ② 若者の地域定着キャリア形成と採用強化

小中高のキャリア教育から都市部連携・ジョブナビ強化による採用、入社後支援までを一気通貫で展開し、若者が育ち働き続けられる「選ばれる地域」を創出。

## 【事業】

- 地域課題解決プロジェクトへの副業・学生参画×地元企業「未来共創」プロジェクト
- 保護者向け企業見学バスツアー「親子就活支援」
- 複数企業ローテーション・短期住居提供型  
インターン・リモートインターン
- 「ジョブナビ恵那」企業PR&つながり維持機能強化
- 市内合同新入社員定期研修&コミュニティ構築事業
- 地元企業の発信力強化事業（技術・社員・社風等）
- 都市部大学ハローワーク連携就業促進事業（雇用対策協議会）
- ジョブナビ恵那強化検討事業（雇用対策協議会）
- 企業向け採用力向上セミナー（雇用対策協議会）
- 中学生お仕事体験事業（雇用対策協議会）
- 校内企業説明会（雇用対策協議会）
- えーなお仕事探検隊事業（雇用対策協議会）
- 企業と学校の情報交換会（雇用対策協議会）
- ひがしみの就職企業説明会／恵那合同企業説明会等（雇用対策協議会）
- 高校生の企業見学（雇用対策協議会）
- インターンシップ推進事業（雇用対策協議会）
- 求人情報発信支援事業費補助金（雇用対策協議会）
- 恵那市勤続記念金事業費補助機（雇用対策協議会）
- 高校生インターンシップ推進事業補助（雇用対策協議会）
- 若年層雇用トライアル推進事業（雇用対策協議会）
- 採用活動支援事業補助金（雇用対策協議会）
- 就職情報サイト「ジョブナビ恵那」の運営（雇用対策協議会）
- ジュニアエコノミーカレッジ

## 3 人が集まり活躍できる地域づくり

## 02 施策 多様な個性が輝く 誰もが活躍できる就労環境の整備

### ① 【女性・子育て世代】 仕事と家庭の両立・再就職の後押し

ショートタイムワーク推進や認証制度で企業の受入環境を整え、リスキリングやインターン等の支援により、女性・子育て世代の円滑な再就職と職場定着を実現。

#### 【事業】

- 育児・介護との両立制度を整えるための「企業向け標準化パッケージ」
- 介護や育児を応援する企業を認定する「ケアリング・カンパニー認証・支援」
- 女性の復職と企業の受入を支援する「再就職研修インターンプログラム」
- 育休・離職期間活用「デジタル・リスキリング」支援
- 恵那市振興補助金拡張子育て・リモートワーク導入補助・休職期間リスキリング支援・復帰雇用制度導入補助
- ショートタイムワーク支援トライアル事業
- なでしこおしごとフェアの開催

### ② 【シニア】 経験を活かした活躍推進

豊富な経験を持つシニアと企業を短時間勤務や技能継承でマッチング。インターン活用により円滑な再就職を支援し、生涯現役で活躍できる地域を作る

#### 【事業】

- シニア人材のスキルを活かす「短時間勤務・技能継承マッチング」
- シニア再就職と企業の受入を支援する「再就職研修インターンプログラム」

### ③ 【全世代】 柔軟で働きやすい環境づくり

研修・専門家派遣と市の導入補助金、時短勤務支援を組み合わせ、柔軟なワークスタイルへの変革を支援。

#### 【事業】

- テレワークやフレックス導入のための「専門家派遣と助成金」
- 恵那市商工振興補助金「リモートワーク環境」導入補助
- 新入、中堅、管理職、採用担当、人事総務担当向けの各種セミナーの開催（雇用対策協議会）
- （再掲）ショートタイムワーク支援トライアル事業

### 3 人が集まり活躍できる地域づくり

#### ④ 【障がい者】個性を活かした就労・定着の後押し

ショートタイム、実習・雇用助成を活用し、多様な手法で障がい者の就労定着を伴走支援。

##### 【事業】

- 実習から就職・定着までを継続して支える  
「障がい者就労伴走プログラム」
- 分身ロボティクス活用福祉就労支援事業（社会福祉課）
- （再掲）ショートタイムワークトライアル事業
- 若年者、障がい者トライアル雇用奨励金  
（雇用対策協議会）
- 特別支援学校職場実習受入助成金事業（雇用対策協議会）
- 若年障がい者トライアル雇用推進事業（雇用対策協議会）
- 障がい者雇用推進事業  
-恵那市特定求職者雇用開発奨励金-（雇用対策協議会）

#### ⑤ 【全世代】キャリア形成とスキル再構築促進

地域産業研修やリスキリング補助、人材シェア「恵那スキルバンク」構築で、全世代のスキル再構築を支援。

##### 【事業】

- 地域産業特化型（DX・観光・農業）スキル研修および  
「リスキリング補助制度」
- 人材育成事業費補助（雇用対策協議会）
- 企業間人材シェア・副業マッチング基盤  
「恵那スキルバンク」構築

#### ⑥ 包摂的な雇用と多文化共生

恵那暮らしビジネスサポートでの外国人向け就労相談に加え、受入環境整備や日本語学習等を支援し、外国人が地域で安定して働く共生モデルを構築。

##### 【事業】

- 外国人材が地域で定着し活躍するための「多文化共生就労パッケージ」

## 3 人が集まり活躍できる地域づくり

# 03 施策 あらゆるライフステージで 安全な生活環境を支えるくらし支援

## ① 住環境・生活基盤の充実

地域特化型まちづくり・住環境整備、災害リスク対策（個人）と安全な生活環境の確保。

### 【事業】

- 住宅・生活融資制度の横断的案内・定例説明会  
「勤労者向け暮らし制度案内一本化」
- 地域企業合同・シェア型社宅整備事業
- 勤労者住宅資金利子補給制度
- 恵那くらしビジネスサポートセンター事業  
（シニアワークステーション事業）
- ※ジョイセブン連携事業  
※（一財）中津川・恵那地域勤労者福祉サービスセンター
- 勤労者住宅・生活融資事業
- リフォームローン利子補給金制度

## ② 働きやすい環境づくり

子育て支援・教育支援による働きやすい環境整備、子育て・介護との両立支援。

### 【事業】

- 介護・障がい・療育と就業の両立手引き配布および  
「家庭ケア×就業ヘルプライン」
- フレックス対応短時間託児サービス事業者向け  
運営費補助
- 企業内託児施設設置・運営助成による  
「企業による子育て支援事業推進プログラム」
- 起業行政共同出資型空き家活用「えな・まちなかキッ  
ズステーション（託児スペース）事業」
- 災害時の従業員の安全と事業継続を守る  
「防災マニュアル・演習」
- えな・子育て・介護レスキュー&送迎バウチャー事業
- 【金融・将来】中小企業従業員向け  
「ライフプラン・資産形成」支援事業
- （再掲）新入、中堅、管理職、採用担当、人事総務担当  
向けの各種セミナーの開催（雇用対策協議会）
- ENA HR CLUB事業（雇用対策協議会）

## 3 人が集まり活躍できる地域づくり

### ③ 健康とワークライフバランスの推進

働く人の健康増進施策、ワークライフバランスを支える制度・サービスの充実。

#### 【事業】

- 労働時間・休暇取得改善WLBスコアカード活用  
「ワークライフバランス運用改善支援」
- 産業保健巡回・ストレスチェック・健康講座実施  
「地域版健康経営ライト」
- 恵那市『働きやすさ改革』実践企業認定制度
- （再掲）新入、中堅、管理職、採用担当、人事総務担当向けの各種セミナーの開催（雇用対策協議会）

### ④ 若者定着のための地域魅力化戦略

恵那市で「働く＋暮らす＋楽しむ」を一体で提供し、若者が住みたい・住み続けたい・戻りたいと思える地域を産業振興の視点で実現。

#### 【事業】

- えな『学びと仕事』のオープンスペース整備事業
- 若者があつまる恵那まちなか日替わりシェア型ポップアップ飲食店事業

# 4 地域資源を活かした独自価値の強化と発信

特産品の高付加価値化や広域的な販路開拓により「稼ぐ力」を強化し、地域経済への波及効果を最大化します。恵那の歴史・食・自然・産業遺産を磨き上げ、体験型コンテンツの充実や宿泊施設の質的向上を図ることで、単なる通過点ではない「滞在したくなる観光地」を創造。さらに、戦略的な広報・PR活動を通じて地域ブランドの認知度を高め、デジタルマーケティングや関係人口との連携により、国内外から人・モノ・投資を呼び込む「選ばれる地域ブランド」としての確固たる地位を確立します。

## 施策

### 01

#### 誘客消費の最大化と 地域資源の広域販路確立

販路開拓を推進し、稼ぐ力を強化。広域的な物産展やイベント出展を支援するとともに、観光消費単価の向上を図り、地域経済への波及効果を最大化します。

### 02

#### 歴史・食・自然を磨き上げる 「滞在したくなる恵那」の創造

歴史・食・自然を活かした体験型コンテンツを造成し、滞在型観光への転換を図ります。多言語対応や受入環境を整備し、満足度の高い観光地づくりを推進します。

### 03

#### 恵那市の「ブランド価値」の明確化と 戦略的な広報・プロモーションの推進

産業や商品の魅力を事業者自らが発信する力を強化し、戦略的な広報・PRを展開。デジタル活用や関係人口との連携により地域ブランド認知度を高め、選ばれる地域としての地位を確立します。

## 4 地域資源を活かした独自価値の強化と発信

## 施策

01 誘客消費の最大化と  
地域資源の広域販路確立

## ① 販路拡大促進

ECによる販路拡大、展示会・商談会への出展支援、市場調査・分析による戦略的販路開拓。

## 【事業】

- イベント等での価格・パッケージA/Bテスト用  
「市場調査」補助
- 展示会「えな共同ブース」出展および商談支援
- 市内製造業紹介ポータルサイト構築事業
- TOKYO・NAGOYA ポップアップ進出支援事業
- えなブランド展開強化事業
- えな栗フェス事業
- 全国モンブラン大会事業
- 恵那市商工振興補助金  
(デジタル化による生産性向上・EC普及促進事業)
- 観光DMO事業(ジバスクラム恵那)  
アエルサイトEC(アエルステイ)
- 都市部アンテナショップ等での販路拡大PR
- 恵那市商工振興補助金(販路開拓促進補助金)
- 恵那くらしビジネスサポートセンター事業  
(販売促進セミナー／個別相談会)

## ② 地域経済循環とにぎわい創出

地域経済循環の強化(地産地消・地域内取引促進)、商店街再活性化による地域のにぎわい創出。

## 【事業】

- 法人・宿泊施設による地産品優先調達  
「地域経済循環(地産地消)調達月間」
- 空き店舗活用ポップアップ店舗による商店街再活性  
「回遊オペレーション」
- デジタル地域通貨による市内経済循環促進
- 商店街空き店舗活用・出店促進支援事業(再掲)  
(商店街振興組合)
- 恵那市商工振興補助金  
(空き店舗・空き家活用促進事業)
- (再掲) デジタル地域通貨導入検討
- 恵那市プレミアム付商品券事業
- 商工会・商工会議所等連携企業版  
ふるさと納税推進事業

## 4 地域資源を活かした独自価値の強化と発信

③ 宿泊施設のマーケティング強化 観光ビジョン

オンライン予約や地域連携パートナーシップの推進、口コミ評価の向上を図り、宿泊施設の集客力を強化。

## 【事業】

- 宿泊施設のオンライン予約システムを活用
- 地元の観光事業者や施設との連携を深め、観光パートナーシップを構築
- 宿泊施設の評価を高め、口コミでの集客を促進

④ 観光施設や商業施設との連携強化 観光ビジョン

ジバスクラム恵那による事業や商店街「まちなか市」を通じ、観光・商業施設の連携を強化して地域内での消費を拡大。

## 【事業】

- 観光とビジネスの融合による交流イベント推進
- 地域商社DMO（ジバスクラム恵那）街中活性化事業
- 商店街振興事業（まちなか市開催支援）
- 観光地内の商業施設や地元商店街と連携を強化し、観光客が地域内で消費しやすい環境整備

## ⑤ 地域連携消費促進プログラム

交通拠点や集客施設の連携により、立ち寄りや周遊を促す多様な仕掛けを展開し、日帰り客等の地域消費を拡大。

## 【事業】

- 主要道・駅周辺施設連携による日帰り客向け「立ち寄り・ワンコイン消費」促進キャンペーン

## ⑥ 「地域共感型・文化継承ファンディング」プログラム

クラウドファンディングや寄附など多様な手法で共感と資金を集め、文化・食といった地域資源の価値を高めながら継承支援。

## 【事業】

- 無形資源（文化・食）の体験・保存をリターンとする「共感資本型クラウドファンディング」

## 4 地域資源を活かした独自価値の強化と発信

施策

02 歴史・食・自然を磨き上げる  
「滞在したくなる恵那」の創造

## ① 体験型滞在の充実 観光ビジョン

アウトドア環境の整備やガイド育成、空き家活用によるノマド滞在支援を行い、長期滞在型観光を促進。

## 【事業】

- 多様なアウトドア体験プランを提供し、地域資源を活かした観光促進
- アウトドア体験のためのインフラ整備とガイド育成を進め、質の高い体験提供
- リモートワーカー向け宿泊施設の提供とスポーツツーリズムを通じた長期間の滞在促進

## ② 宿泊施設の質向上 観光ビジョン

接客技術の標準化によるおもてなし向上や、地域資源と連携したサービス開発で、宿泊施設の魅力を向上。

## 【事業】

- 接客技術やサービスの標準化による『おもてなし』の質向上
- 地域資源を活用した基本サービス提供と地元との連携強化と高付加価値化  
(プレミアム体験や特別サービスによる差別化)

## ③ ロケツーリズム推進 観光ビジョン

映画等の撮影支援体制の強化や、ロケ地マップ・聖地巡礼ツアーの造成により、映像作品を活用した誘客を推進。

## 【事業】

- 映画やドラマ等の撮影地として観光地を活用するための撮影支援
- 映画やドラマ等の「聖地巡礼ツアー」を提供
- 映画やドラマ等の撮影地を巡るロケ地マップを作成

## 4 地域資源を活かした独自価値の強化と発信

④ 産業遺産を活用した観光推進 観光ビジョン

産業遺産を活用したドローンイベントの開催やSL復元の検討など、ユニークな地域資源を磨き観光に活用。

## 【事業】

- SL観光鉄道を活用し、観光客に地域の産業遺産を体験してもらうための観光資源として活用関連イベント
- 産業遺産に関する情報を盛り込んだガイド付きツアーの企画・提供
- 地元工芸品や特産品を取り入れた産業遺産関連商品の開発・販売

⑤ 観光商品パッケージ化 観光ビジョン

宿泊・体験・特産品のセット販売や地域通貨の活用により、地域内での周遊と消費拡大を促す仕組みを構築。

## 【事業】

- 宿泊施設と連携した観光体験と特産品のセット販売を強化し、さらに都市圏拠点での物販・観光体験セット販売を通じて、誘客を促進
- アエルステイ運営事業（ジバスクラム恵那）
- 観光DMO事業（ジバスクラム恵那）
- 地元特産品やオリジナル商品を組み合わせた「地域限定セット」の販売
- 春の花見ツアー、夏のアウトドア体験、冬の温泉パッケージなど季節限定プランの企画・告知

⑥ 文化・歴史観光の推進 観光ビジョン

歴史遺産や伝統芸能等の地域資源を活用した周遊ツアーや体験プログラムを開発し、文化的な観光を推進。

## 【事業】

- 岐阜未来遺産認定を活かし、地域資源の活用と観光発信を強化
- 地域の歴史的資源を活用した歴史ツアーの提供
- 地元文化・伝統芸能の観光資源としての強化

⑦ 食と農業体験観光の強化 観光ビジョン

農業体験や地元食材を楽しむプログラムを通じ、地域の「食」と「農」の魅力を深く体験できる旅を提供。

## 【事業】

- 農業体験を通じた学びと体験
- 地元食材・料理体験プログラムの提供

## 4 地域資源を活かした独自価値の強化と発信

## 施策

## 03 恵那市の「ブランド価値」の明確化と戦略的な広報・プロモーションの推進

## ① 地域ブランド価値の向上（高付加価値化）

地域ブランド育成支援、地域企業のブランド価値向上支援。

## 【事業】

- 商品・企業の「顔」を磨く  
「地域企業のブランド診断クリニック」事業
- 歴史的な建造物や地域資源活用店舗など  
「えなヘリテージ空間認定」
- 異業種（観光×商業×農業×IT等）連携による  
「地域ブランド体験イベント・商品開発」
- えなブランド認定事業
- 地域商社事業（ジバスクラム恵那）

## ② 地域ブランド商品開発

## 観光ビジョン

地元食材の独自メニューや製造業の自社製品開発を支援。食と技術を高付加価値化、稼げるブランド創出。

## 【事業】

- 地元特産品の魅力再評価しブランド化を進めるための支援
- 地元食材を使った観光プログラムや食文化体験を提供し、  
フードツーリズムを推進
- 技術のブランド化「ファクトリーブランド」創出支援
- 恵那市商工振興補助金事業  
（えなブランド新商品開発支援事業）
- 地元シェフと連携し地元食材を使用した  
独自の料理を開発

## ③ 情報発信・PR戦略の強化

情報発信・PR支援、企業紹介コンテンツ作成支援・メディア広告活動

## 【事業】

- 写真・動画・コピー等の著作権処理済み素材共有化  
「Ena PR素材バンク」整備
- 恵那・企業合同新商品／サービスプレス発表会開催事業
- 【配信ツール】「プレスリリース配信サービス」活用補助
- 若者×企業 PR共創プロジェクト
- 恵那市商工振興補助金  
（新商品／新サービスメディアPR補助）
- 台湾市場向けプロモーション強化事業
- 恵那市フォトムービーコンテスト
- えなブランドPR推進強化事業
- 恵那市産品メディア露出強化事業
- 岐阜県専門情報誌（+WEB）によるPR
- 恵那暮らしビジネスサポートセンター事業  
（SNS・PRセミナー）
- SNS活用情報発信事業（ジバスクラム恵那）

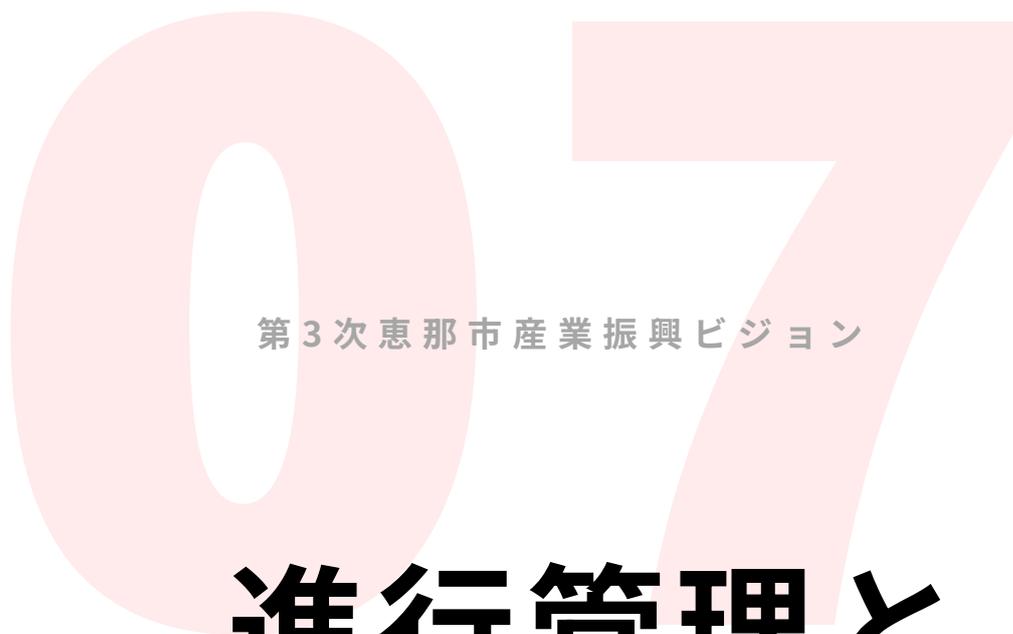
## 4 地域資源を活かした独自価値の強化と発信

### ④ 観光客誘致と消費をつなげるプロモーション 観光ビジョン

産業遺産を活用したドローンイベントの開催やS L復元の検討など、ユニークな地域資源を磨き観光に活用。

#### 【事業】

- SNSを活用して観光地の魅力を発信し、観光客に地域の魅力を伝えるキャンペーンを実施
- 観光シーズンごとに特化したプロモーションを行い、季節ごとの観光資源を強調して観光客を誘致



第3次恵那市産業振興ビジョン

# 進行管理と 評価指標



## 第3次恵那市産業振興ビジョンの進行管理と評価指標

本ビジョンの着実な推進を図るため、各施策に設定したKPI（重要業績評価指標）を用い、進捗状況を定量的かつ客観的に把握します。具体的には、毎年度KPIの実績値と目標値を比較・検証し、その結果に基づき関連事業の効果測定を行います。成果が十分な点は継続し、課題が見られる点は改善策を講じるなど、柔軟な事業見直し（PDCAサイクル）を徹底します。

この進行管理の中核を担うのが「産業振興会議」です。同会議にて毎年の進捗状況を報告・審議し、委員からの専門的な意見や提言を次年度の施策へ反映させることで、社会情勢の変化にも対応した実効性の高い産業振興を実現します。

※（累計）は、2026年から2029年の4年間の累計とします。

※（年間）は、2026年から2029年の4年間の平均とします。

### 1 挑戦を後押しする環境の整備

No	施策名	KPI指標	現状 R7現在	目標 R11
1-1	「恵那発」創業・新事業チャレンジによる 地域内イノベーション創出	・恵那市商工振興補助金 新事業／創業補助金適用件数（累計）	26件	100件
1-2	産業・地域の垣根を超えた「連携」による 新価値創造	・ビジネスサポートセンター マッチング件数（累計）	12件	50件
1-3	「持続可能な恵那」をつくる地域課題解決型 ビジネスの振興	・恵那市商工振興補助金 空き店舗（家）活用促進事業適用件数（累計）	4件	30件
1-4	地域資源を世界へ発信するグローバル戦略推進	・訪日外国人宿泊者数（年間延べ） ・恵那市商工振興補助金ECサイト適用件数(累計)	1.2万人 1件	2.7万人 10件
1-5	リニア・資源を活かす「次世代産業」集積と 産業基盤の創造	・市内事業所の事業拡大目的投資件数（累計） ・事業所の新規立地件数（累計）	17件 6件	20件 10件

### 2 持続可能で強靱な中小企業の支援

No	施策名	KPI指標	現状 R7現在	目標 R11
2-1	稼ぐ力の向上と強靱な経営体質の確立	・恵那くらしビジネスサポートセンター経営 改善相談数（年間）	914件	1000件
2-2	経営情報の提供と多様な資金調達の促進	・恵那くらしビジネスサポートセンター補助 金・資金相談数（年間）	182件	200件
2-3	円滑な事業承継と「第2創業」の促進	・恵那くらしビジネスサポートセンター資金 事業承継相談（年間）	31件	50件
2-4	中小企業DXによる生産性向上と ビジネスモデル変革	・恵那市くらしビジネスサポートセンターデ ジタル相談件数（累計）	288件	300件

### 3 人が集まり活躍できる地域づくり

No	施策名	KPI指標	現状 R7現在	目標 R11
3-1	「恵那で働く・暮らす」誇りを育む産業人材育成	・インターンシップ推進事業件数（累計） ・高校生市内事業所就職率（年間）	6件 22.2%	15件 30%
3-2	多様な個性が輝く就労環境の整備	・人材育成事業費補助件数(累計)	1件	10件
3-3	あらゆるライフステージで安全な生活環境を 支えるくらし支援	・勤労者住宅資金利子補給制度 ／勤労者住宅／生活融資事業 ／リフォームローン利子補給金制度 適用件数（累計）	1件	10件

### 4 地域資源を活かした独自価値の強化と発信

No	施策名	KPI指標	現状 R6年度末	目標 R11
4-1	誘客消費の最大化と地域資源の広域販路確立	・宿泊者数(年間) ・観光消費額(年間)	26.0万人 103億円	28.8万人 110億円
4-2	歴史・食・自然を磨き上げる 「滞在したくなる恵那」の創造	・観光入込客数(年間) ・旅行満足度(年間)	345.9万人 91.3%	410万人 93%
4-3	恵那市の「ブランド価値」の明確化と 戦略的な広報・プロモーションの推進	・えなブランドPR露出（展示会等） 件数(年間)	-件	30件

第3次恵那市産業振興ビジョン

(参考資料)  
ビジョン策定  
資料

恵那市産業振興ビジョン策定基礎調査

# 市内事業所アンケート 分析報告書

2026年度 次期ビジョン策定に向けた  
現状課題と施策方向性

調査対象

**N=101**

恵那市内事業者

実施期間

**令和7年11-12月**

WEBおよび紙面調査

調査総論

地域経済の根幹を支える「人（人材確保・育成）」と「情報伝達（施策の到達）」における課題解決に、資源を集中すべきである。

※回答者の多くは中小・小規模事業者であり、高額な投資や煩雑な手続きが困難な層への配慮が施策設計の前提となる。

# I. 現状把握：事業承継と業績

## Q1・Q2 事業承継の状況と課題

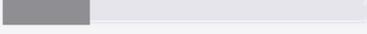
### 主な回答概要

- ・後継者未定層が一定数存在し、技術・ノウハウの散逸リスクがある。
- ・**知識欠如**: 初期段階での相談先やノウハウが不足。
- ・**将来性への不安**: マーケット縮小への懸念が後継者難の根本原因。

### 🔍 分析・施策方向性

後継者不足は単なる人材不足ではなく、事業の将来性に対する不安が根本にあります。単なるマッチング支援に留まらず、承継後の収益モデル再構築やマーケット開拓支援など、「**継ぎたくなるような事業への磨き上げ**」を伴走支援する仕組みが必要です。

## Q3 最近の業績動向

1. 停滞・横ばい		54.5%
2. 不振		19.8%
3. 順調		23.8%

### 🔍 分析・施策方向性

過半数が「維持」に精一杯で、地域経済の潜在成長率が停滞しています。不振層（約2割）への緊急的な経営改善支援を行いつつ、順調層（約2割）の成功要因を行政が吸い上げ、**地域全体にノウハウを横展開する「成功モデルの共有」**が有効と考えられます。

## Q5 (好調企業) 業績順調の要因

キーワード：

新規顧客の開拓

独自性・競争力

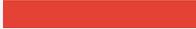
地域外・海外販路

### 🔍 分析・施策方向性

業績好調企業の共通項は、既存市場に留まらない「攻め」の姿勢です。この挑戦を行政が後押しするため、**新たな販路開拓や高付加価値化への挑戦リスクを低減させる支援策**（補助金や専門家派遣等）の強化が求められます。

## II. 経営課題と危機要因

### Q4 現在の最大の経営課題

1. 従業員の確保・育成		54.5%
2. 原材料原価率の高騰		50.5%
3. 受注量・売上の減少、従業員の高齢化		48.5%

### Q6 物価高騰の影響

1. 影響が継続している		76.2%
2. 今後影響の可能性		10.9%
3. 収束した		4%

#### 分析・施策方向性

約7割以上の企業でコスト増が収益構造を圧迫し続けています。これは単なる一時的な現象ではなく、「稼ぐ力」を削ぐ構造的な問題です。価格転嫁の促進支援に加え、**コスト増を吸収できるだけの生産性向上や高付加価値化への転換支援**が不可欠です。

### Q8 人材確保の障壁（ボトルネック）

1. 業界に対するイメージ		38.6%
2. 報酬等の条件不一致		34.7%
3. 知名度不足		31.7%

#### 分析・施策方向性

物価高による賃上げ余力の低下（条件不一致）に加え、いわゆる3Kイメージや情報発信不足が採用の入口を塞いでいます。個社努力では解決困難な「業界イメージの刷新」や「合同での情報発信」など、**地域全体で雇用ブランドを高める取り組み**を行政が主導する必要があります。

### III. 今後の意向と人材育成

#### Q7 今後実施したい取り組み

1. 人材の確保・育成		74.3%
2. 販路拡大		47.5%

##### 🔍 分析・施策方向性

企業は「人」の問題さえ解決できれば、次は「売上を伸ばしたい（販路拡大）」という強い成長意欲をもっています。したがって、人材支援は単なる欠員補充ではなく、「**企業の成長エンジンを再起動するための最優先投資**」と位置づけ、集中的にリソースを投下すべきです。

#### Q9 人材育成の課題

1. 時間の余裕がない		44.6%
2. ノウハウ不足		28.7%
3. 離職リスクへの懸念		26.7%

##### 🔍 分析・施策方向性

「多忙で数える時間がない」→「人が育たない」→「離職する」という負のスパイラルが発生しています。これを断ち切るため、社外での効率的な研修機会の提供や、**OJT負担を軽減するための教育マニュアル作成支援**など、現場の負担を直接的に下げる施策が効果的です。

#### Q10 外国人雇用の課題

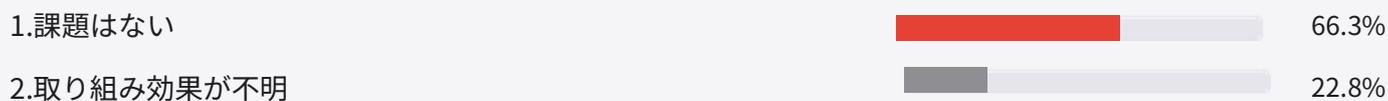
1. 未導入（手続き・不安が障壁）		46.5%
2. 住居支援、コミュニケーション (各22.6%)		22.8%

##### 🔍 分析・施策方向性

人手不足の切り札となる外国人雇用ですが、手続きの複雑さや生活支援（住居等）が大きな壁となっています。企業単独での対応には限界があるため、**行政が窓口となって住居確保や生活オリエンテーションをサポート**するなど、包括的な受け入れ態勢の整備が急務です。

## IV. 連携と行政支援の活用状況

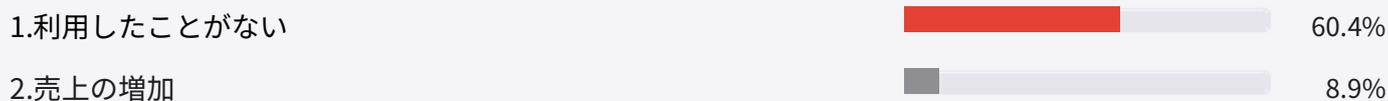
### Q11 事業者間連携について



#### 🔍 分析・施策方向性

連携への心理的ハードルは低いものの、具体的な成果（売上・コスト減）が見えないため足踏みしていると考えられます。連携による成功事例を可視化するとともに、**連携プロジェクトの立ち上げにかかる初期コストを補助**するなど、最初の一步を後押しするきっかけが必要です。

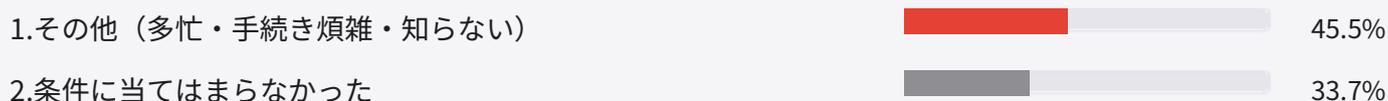
### Q12 支援策の利用効果



#### 🔍 分析・施策方向性

約6割の企業に支援が届いておらず、特に不振層が取り残されている恐れがあります。また、利用企業においても一時的な「集客」効果に留まり、根本的な「稼ぐ力の強化」には至っていません。**バラマキ型の支援から、企業の体質改善に直結する伴走型支援への転換**が求められます。

### Q13 利用しなかった理由

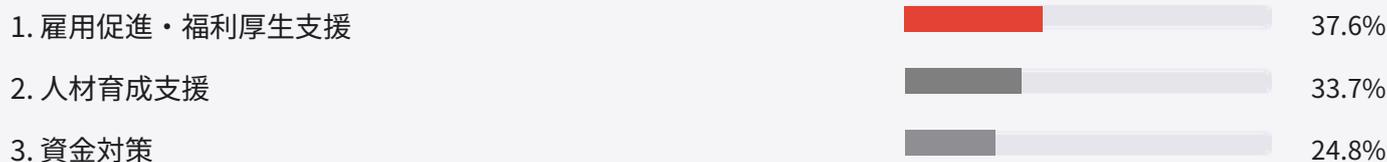


#### 🔍 分析・施策方向性

「制度を知らない」「手続きが面倒で時間がない」という理由が実質的な障壁です。多忙な中小事業者の実態に即し、**申請手続きの徹底的な簡素化やデジタル化**、およびプッシュ型の情報発信（訪問やSNS活用）など、「届ける努力」と「使いやすさの改善」が最優先課題です。

## V. 行政への要望と結論

### Q14 行政に望む支援（ニーズ）



#### 🔍 分析・施策方向性

「資金」や「販路」よりも、「人」に関する基盤性にへの要望が圧倒的（約7割）です。これは、人材不足が経営のボトルネックになっていることの表れです。今後の産業振興ビジョンでは、**人材確保・育成・定着支援**を「産業インフラ整備」と同等に位置づけ、最重点投資を行うべきです。

# 【市内事業者対象】 恵那市内事業者の現状についてまとめ

(n=101)

## 1. 示唆される主要な課題 (現状)

No.	テーマ	示唆される主要な課題
1-3	景況感・売上・利益	<b>事業環境の厳しさ</b> ： 売り上げや利益の回復が鈍く今後の見通し不透明
4	従業員数	<b>労働力不足</b> ： 事業規模に対して十分な人材を確保できていない
5-7	採用・定着	<b>人材の定着率の低さと採用難</b> ： 特に中小企業での魅力づくりが課題
8	従業員の教育	<b>スキル不足</b> ： 変化する事業環境に対応する人材が育っていない
9	後継者の有無	<b>事業承継の遅れ</b> ： 後継者が未定、または育成に時間を要している
10	企業間の連携	<b>孤立化</b> ： 他社との交流が少なく、ノウハウやアイデアを共有機会が不足
11	DXの状況	<b>デジタル化の遅れ</b> ： Itツール導入やデータ活用が進んでいない
12-13	海外展開・インバウンド	<b>販路の限定</b> ： 国内市場縮小に対応する海外展開インバウンド対応不十分
14	行政に望む支援	<b>要望の多様化</b> ： 人、資金、マーケティング、ITなど多岐にわたる

## 2. 第3次産業振興ビジョンにて必要とされる施策方向性

※アンケート「行政に望む支援 (Q14)」の結果より導出

### 人材力の強化と安定化

1位・2位

雇用促進、福利厚生、人材育成への補助を強化し、企業の持続的な成長を支える。

### 経営基盤の安定

3位

資金調達支援に加え、事業承継やDXによる業務効率化を促進し、安定した経営体質への転換を図る。

### 販路拡大と競争力向上

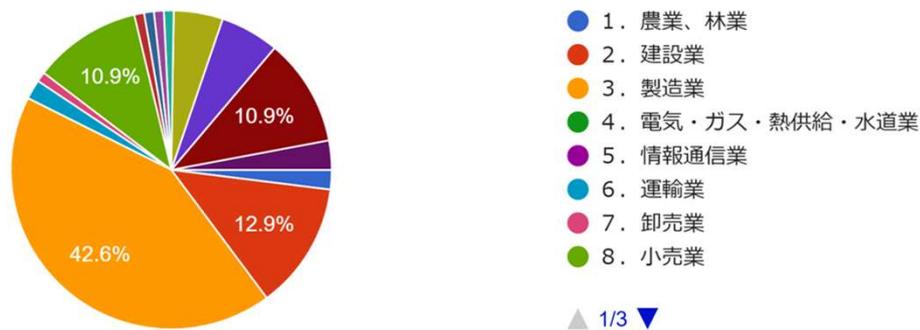
4位・5位

市場開拓、宣言PR、技術開発への支援を通じて、地域企業の競争力を高め、国内外での市場獲得を後押しする。

# 恵那市内事業者の現状についてアンケート回答一覧

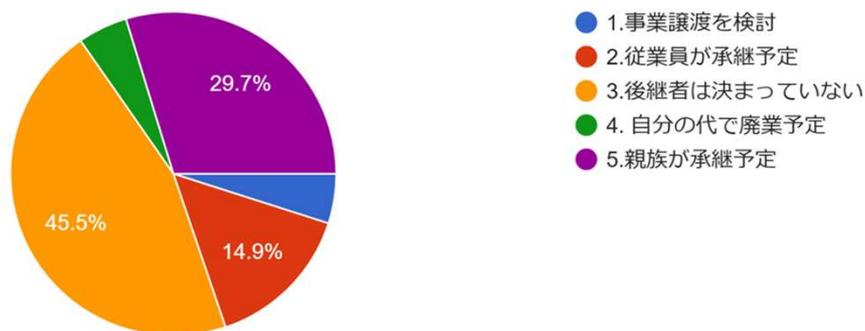
【質問】 事業者種別をお教えてください。

101 件の回答



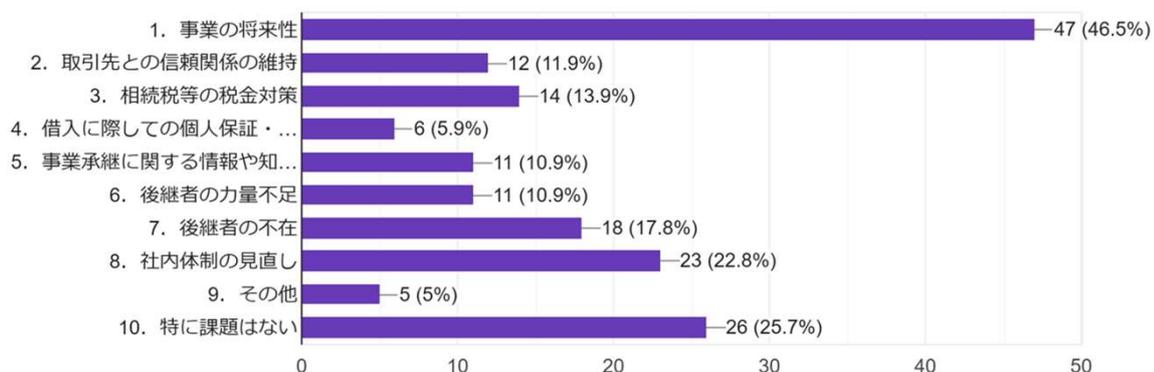
【質問1】 事業継承の移行について

101 件の回答



【質問2】 事業継承の際の課題はありますか？ (複数回答可)

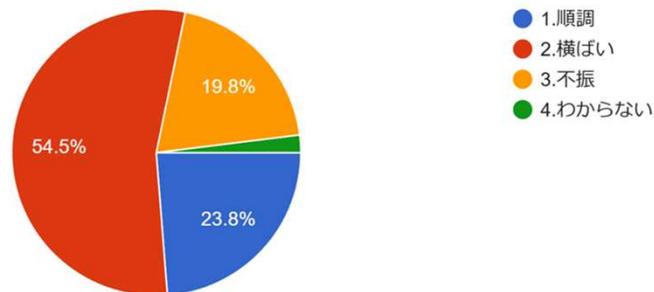
101 件の回答



# 恵那市内事業者の現状についてアンケート回答一覧

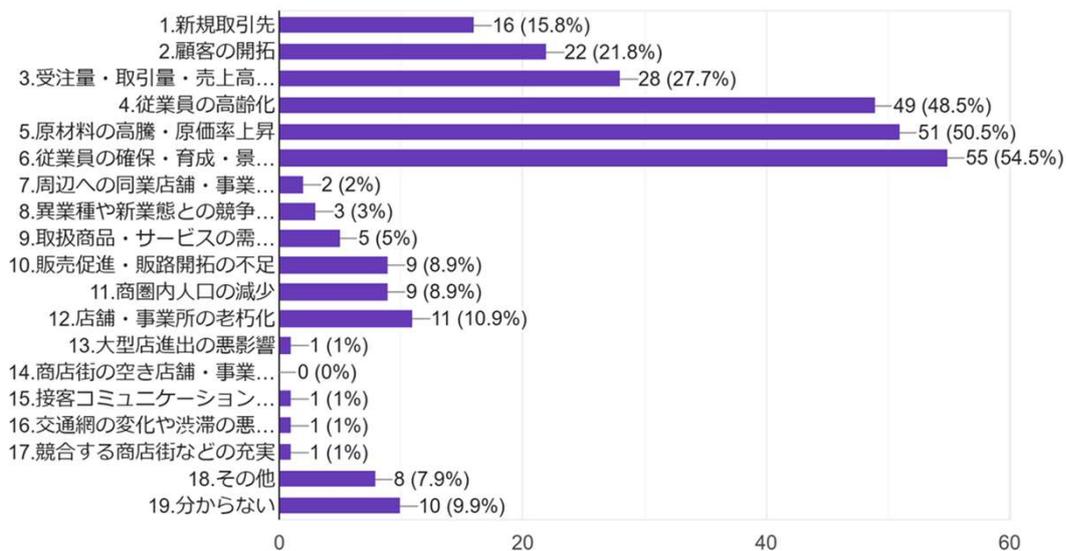
## 【質問3】 最近の業績

101件の回答



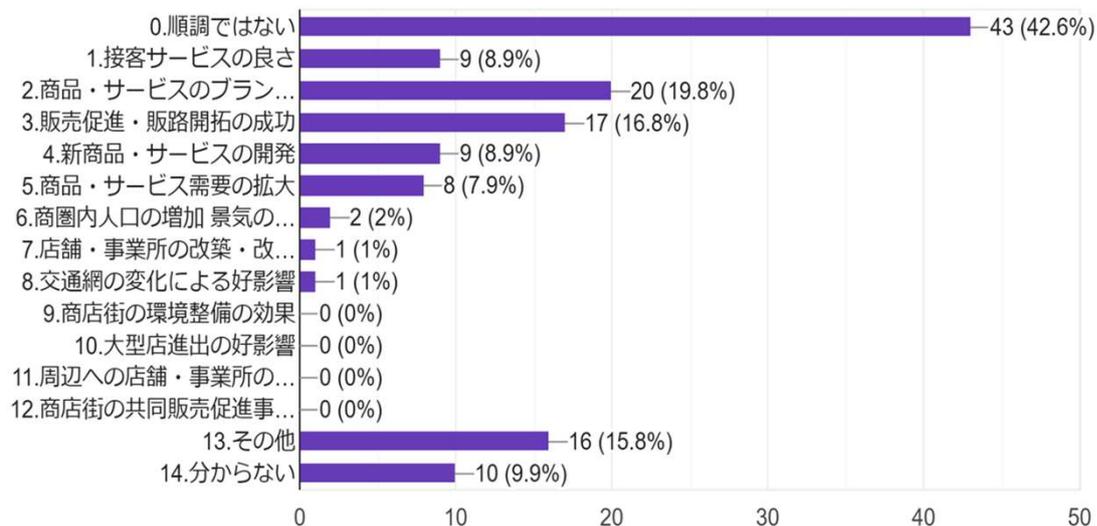
## 【質問4】 不振の理由や現在抱えている経営課題 (複数回答可)

101件の回答



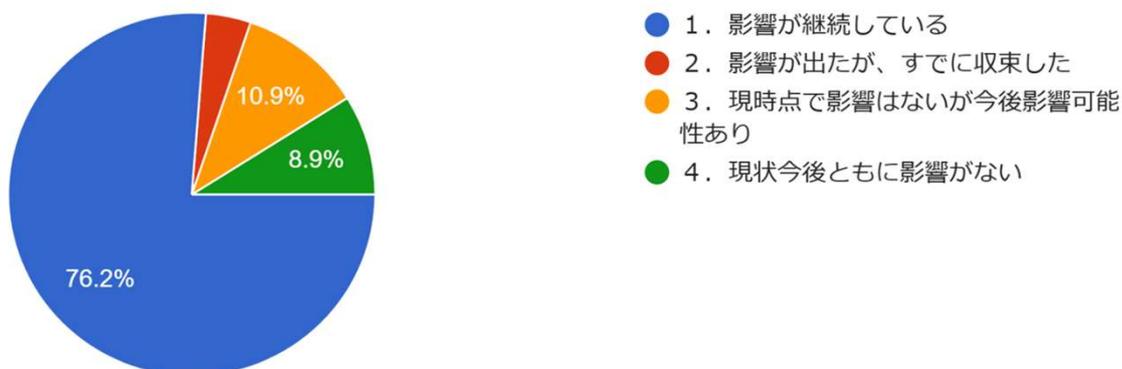
## 【質問5】 業績順調な理由 (複数回答可)

101件の回答



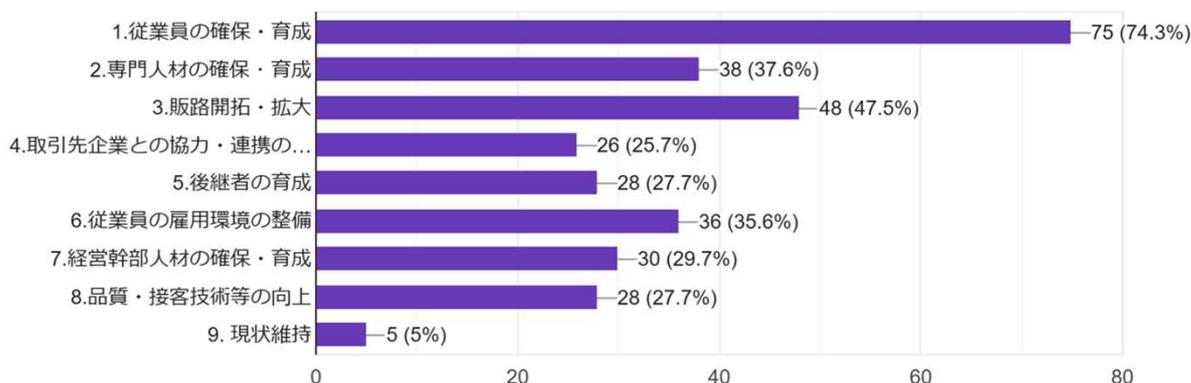
# 恵那市内事業者の現状についてアンケート回答一覧

【質問6】 エネルギー・食料品価格等の物価高騰に...企業活動にマイナスの影響を及ぼしていますか。  
101件の回答



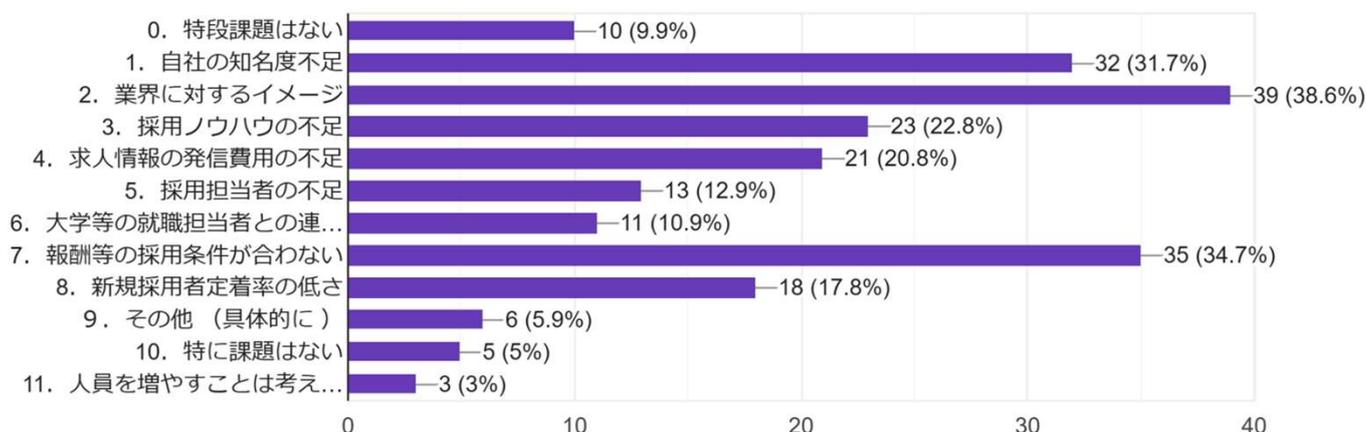
【質問7】 今後実施したいこと (複数回答可)

101件の回答



【質問8】 人材確保の課題はありますか？ (複数回答可)

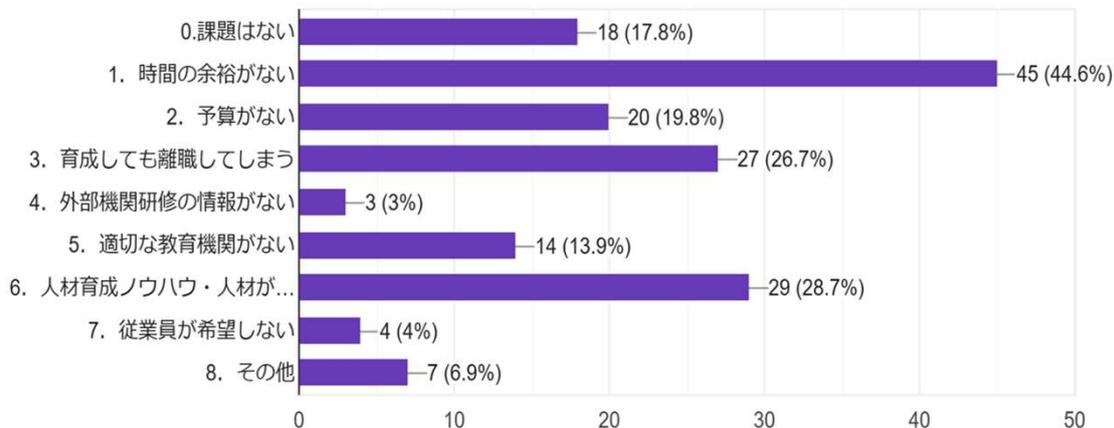
101件の回答



# 恵那市内事業者の現状についてアンケート回答一覧

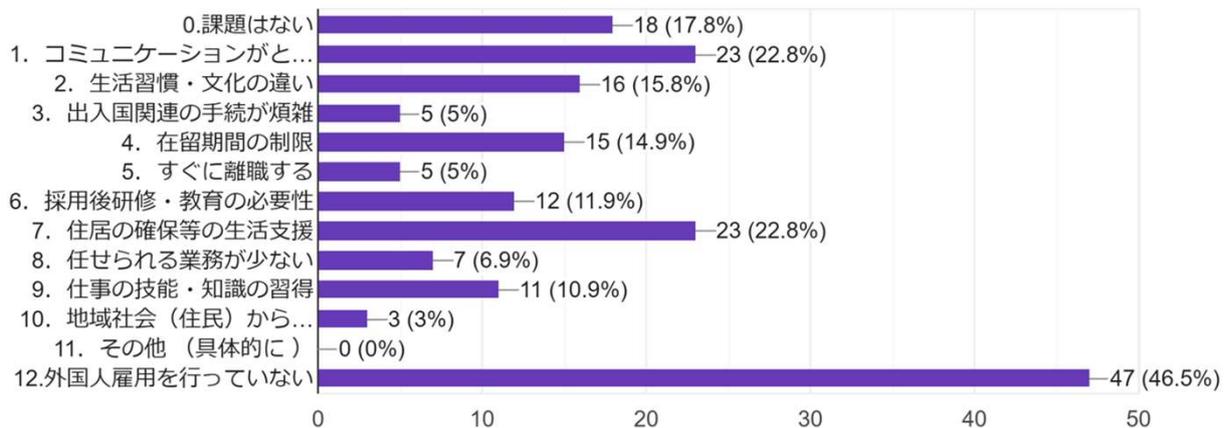
## 【質問9】 就業者の人材育成に課題がありますか？ (複数回答可)

101件の回答



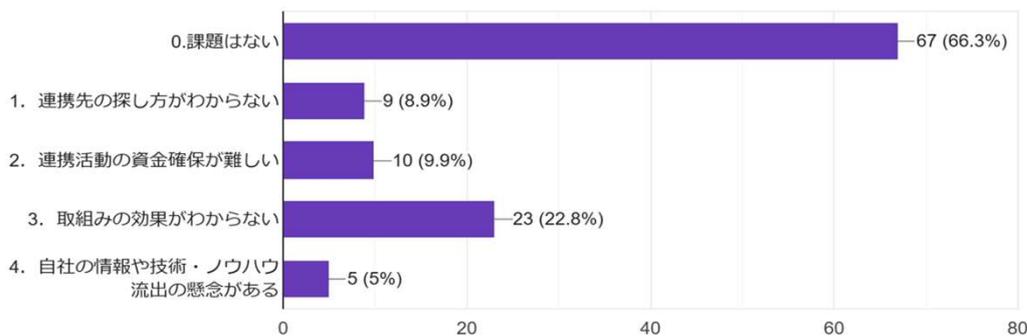
## 【質問10】 外国人雇用について課題がありますか？ (複数回答可)

101件の回答



## 【質問11】 貴社では、企業など事業者間で連携の課題はありますか？ (複数回答可)

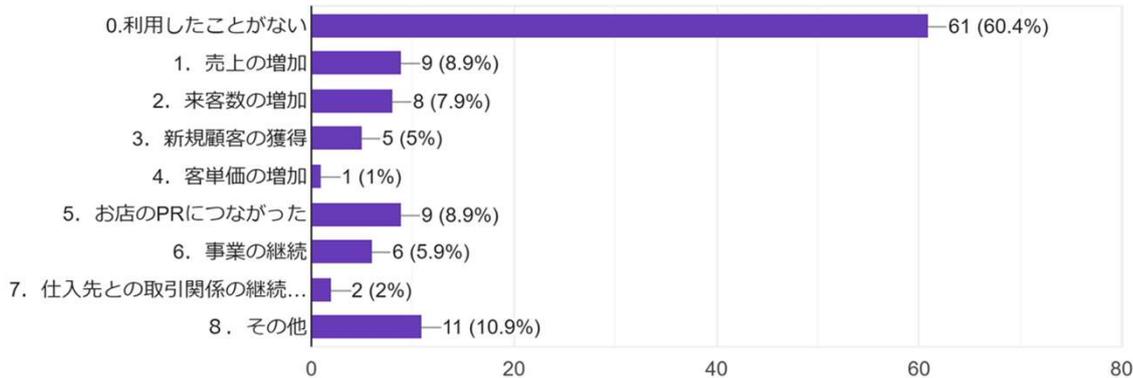
101件の回答



# 恵那市内事業者の現状についてアンケート回答一覧

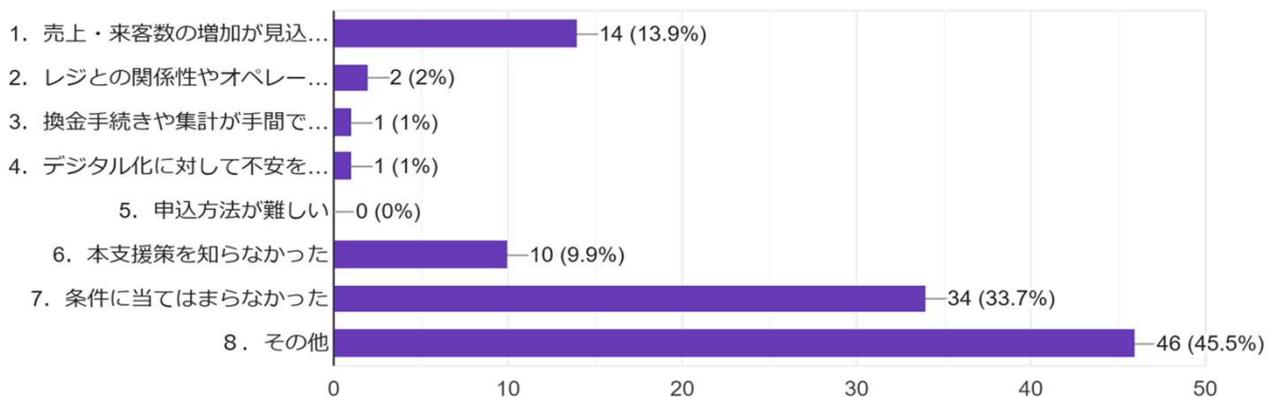
【質問12】市や商工会が実施した事業者支援策や消...工振興補助金や商品券事業等 (複数回答可)

101件の回答



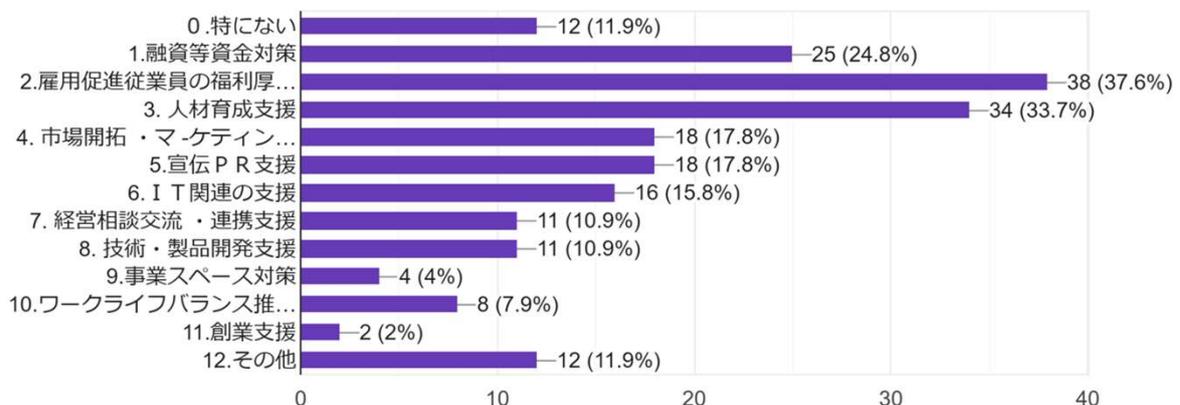
【質問13】利用しなかった理由は (【質問12】に...がない」と回答された方のみ) (複数回答可)

101件の回答



【質問14】行政に対して望む支援はありますか? (複数回答可)

101件の回答



恵那市産業振興ビジョン策定基礎調査

# 地元高校生意識調査

## 分析報告書

若者の定着・流入促進に向けた就職意識と地元企業への期待

調査対象

**恵那・中津川市 高校生**

1年生～3年生

回答N=777

実施期間

**令和7年 11-12月**

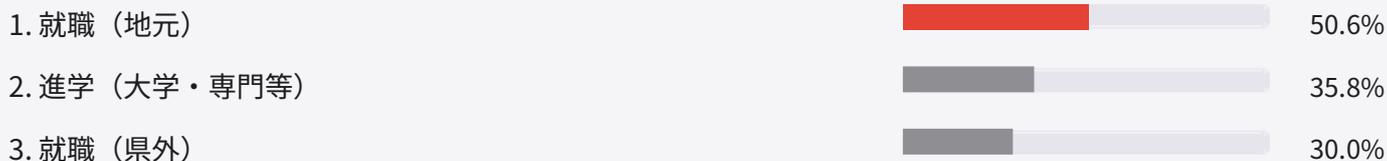
WEBアンケート方式

調査総論

高校生の過半数が地元就職に前向きな意向を示していますが、その絶対条件として「給与・待遇の改善（72.5%）」を挙げています。若者の定着には、学校を通じた体験型キャリア教育の強化と、企業の収益力向上（DX等）による待遇改善の両輪が必要です。

# I. 進路希望と地元への定着意欲

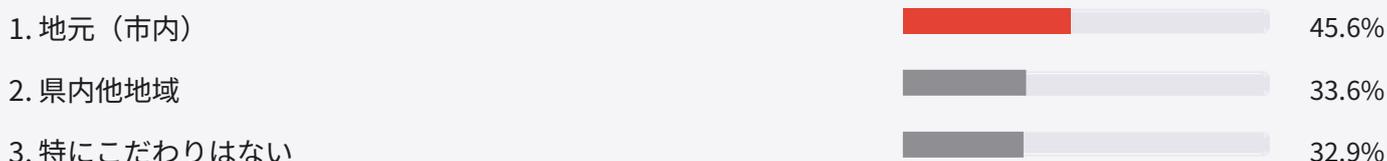
## Q2 卒業後の進路希望



### 分析・施策方向性

「地元就職（50.6%）が最多であり、人材供給源としてのポテンシャルは非常に高いです。一方で「進学（35.8%）」層は将来のUターン候補であり、在学中も地元情報を届ける仕組みが必要です。また、「県外就職（30.0%）」層に対しては、流出理由（給与や職種）を分析し、地元企業の魅力を再定義する必要があります。

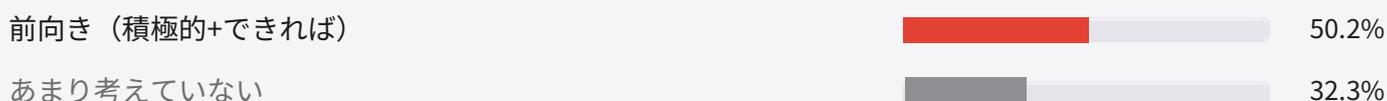
## Q6 働く場所の希望地域



### 分析・施策方向性

地元希望層（約45%）の受け皿整備が最優先ですが、注目すべきは「こだわりはない（32.9%）」という浮遊層です。この層は情報提供次第で地元定着に転じる可能性が高く、積極的なPRのメインターゲットとなります。また、県内他地域への流出を防ぐため、近隣都市と比較しても選ばれる独自の魅力発信が重要です。

## Q8 地元就職への意欲



### 分析・施策方向性

約半数が前向きである一方、約3割が「考えていない」状態です。この無関心層に対しては、従来の合同説明会のような「待つ姿勢」では届きません。学校カリキュラムに組み込むなど、強制力のある接点創出によって「地元で働くこと」を具体的な選択肢として認識させる初期アプローチが不可欠です。

## II. 希望する業種と企業タイプ

### Q4 働きたい業種

1. 製造業		40.0%
2. 観光・サービス業		22.0%
3. IT・デジタル関連		21.2%

#### 分析・施策方向性

「製造業（40%）」が圧倒的であり、地元の基幹産業としての強みが現れています。一方で「IT／デジタル（21.2%）」への関心も高く、この需要を取りこぼさないことが重要です。製造業のDX化を推進し、地元の製造現場でデジタルスキルを活かせる職種を創出することが、若者のニーズに応える鍵となります。

### Q3 希望する企業のタイプ

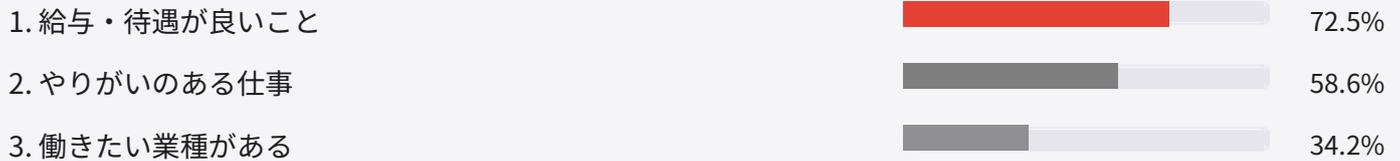
1. 地元企業		48.4%
2. 全国展開している企業		45.4%
3. 公務員・自治体		16.2%
4. 起業・自営業		11.5%

#### 分析・施策方向性

「地元企業」と「全国企業」の人气が拮抗しており、生徒は「地元への愛着」と「大手並みの待遇・スケール」の間で揺れてるとも考えられます。地元企業は全国企業と比較される前提で、独自の安定性や待遇をアピールする必要があります。また、起業志向（約1割）の生徒には、スタートアップ支援やアントレプレナーシップ教育の提供が有効です。

### III. 働く条件と理想のスタイル

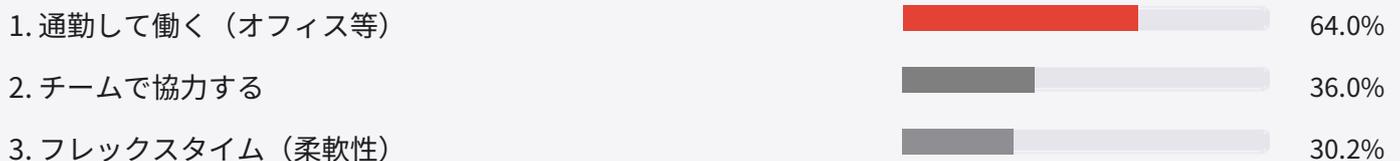
#### Q9 地元で働くための必須条件



#### 分析・施策方向性

「給与・待遇（72.5%）が圧倒的1位であり、地元愛や貢献意欲（26.8%）を大きく上回ります。高校生はシビアに経済的合理性を求めているとも考えられます。精神論での定着は不可能であり、行政による企業支援（生産性向上・高付加価値化）を通じて、実質的な賃上げを実現することが、最も確実な若者定着策となります。

#### Q7 希望する働き方

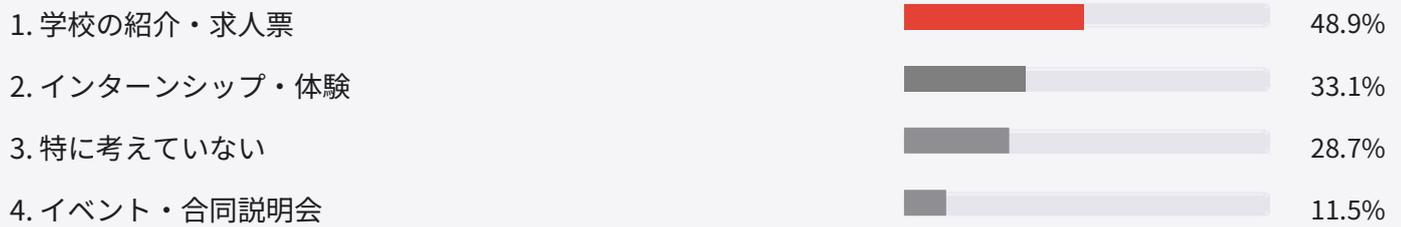


#### 分析・施策方向性

多くの生徒は「通勤」による安定したコミュニティを求めています。同時に「時間の柔軟性（フレックス等）」も約3割が希望しています。「顔の見える安心感」と「柔軟な働き方」を両立させるハイブリッドな職場環境の整備が地元企業の競争力を高めるポイントになります。

## IV. アプローチ手法と結論

### Q10 地元就職のための活動方法



#### 🔍 分析・施策方向性

「学校」と「体験」が主要ルートであり、イベント（11.5%）の効果は限定的です。「考えていない」層（約3割）を動かすには、自主性に任せるのではなく、学校と連携した必須プログラムとしての体験機会提供が不可欠です。大規模イベントよりも、日常的なキャリア教育へのリソース集中が推奨されます。

## 【高校生対象】 就職・地元企業に対するアンケートまとめ (n=777)

### I. 経済合理性の確保

地元定着の絶対条件である「給与・待遇が良い企業」の実現に向けた支援

現状：給与待遇が良い企業があること (72.5%)

#### 1. 待遇改善に直結するDX・生産性向上支援

地元企業に対し、給与・待遇の原資となる生産性向上のための設備投資、IT・デジタル技術導入(DX)への補助制度を拡充する。

⑨給与・待遇72.5%

④IT・デジタル72.5%

#### 2. 柔軟な働き方と若手活躍環境の整備支援

地元企業に対し、フレックスタイム等多様な働き方や若手に裁量を与える新規プロジェクトの立ち上げを支援し、「若者が活躍できる環境整備」を創出する。

⑨給与・待遇72.5%

④IT・デジタル72.5%

### II. 体験を通じた情報提供

学校と体験という、高校生が最も信頼し、希望する経路を強化する

現状：学校紹介(48.9%)、インターンシップ(33.1%)

#### 3. 職場体験・キャリア教育の強化

地元の高校と連携し、全生徒を対象とした地元企業での職場体験(インターンシップ)を強化するなどの実施。情報要求度が低い層(あまり考えていない32.3%)に対し、体験を通じた接点を提供する。

⑩学校紹介48.9%

⑧あまり考えていない32.3%

#### 4. 学校・保護者向けの情報提供強化と企業イメージ刷新

高校の進路指導担当者や保護者に対して、地元企業の給与・待遇、DX状況、若手社員の活躍事例をまとめた最新情報を定期的に提供する。

⑩学校紹介48.9%

⑩学校紹介48.9%

#### 前半まとめ：

地元の高校生は、地元就職に高い意欲を持つ一方で、給与・待遇の良さ(72.5%)を最重要視している。

施策は、この経済的ニーズに応えるため地元企業のDX・生産性向上支援が必要と考えられる。

## 【高校生対象】 就職・地元企業に対するアンケートまとめ (n=777)

### III.仕事の質と多様な機械の確保

「やりがい」と「働きたい業種」のニーズを満たすための産業創出支援

現状：やりがいのある仕事 (58.6%)、働きたい業種の企業 (34.2%)

#### 5.人気業種 (IT・製造業) での「やりがい」創出

地域の基幹産業 (製造業40.0%) と人気業種 (IT 21.2%) が連携するなど、新たな商品開発やサービスの企画に高校生を巻き込むなど地元企業×高校生のプロジェクトを実施する。

④製造業40.0%

⑨やりがい58.6%

#### 6.創業・副業を通じた多様なキャリアパスの提示

高校生向けの起業家育成プログラムや、地域課題解決につながる副業・兼業を行いながらも働けるキャリアを提示。また、そういった柔軟な働き方を市内企業にて推進。

③自営業・企業11.5%

⑦副業・兼業15.1%

### IV.流出防止とUターン促進

進学層や県外資構想との繋がりを維持し、招待的なUターンを促す

現状：進学 (35.8%)、首都圏 (19.7%)、特に考えていない (32.9%)

#### 7.Uターン促進型連携の強化とリモートワーク活用インターン強化

県外進学者に対し、進学中の段階から地元企業で働ける長期休暇時インターンやリモートアルバイト (インターン) の機会を提供し、進学層 (35.8%) のつながりを維持する。

②進学35.8%

⑦リモートワーク19.2%

#### 8.曖昧層 (約44%) へのターゲットアピール

「あまり考えていない」 (32.3%) と「わからない」 (11.8%) 層をターゲットに、地元企業の社会的貢献度や最新技術への取り組みなど企業情報を集中かつ継続的に発信強化。

⑧あまり考えていない32.3%

⑥こだわりなし32.9%

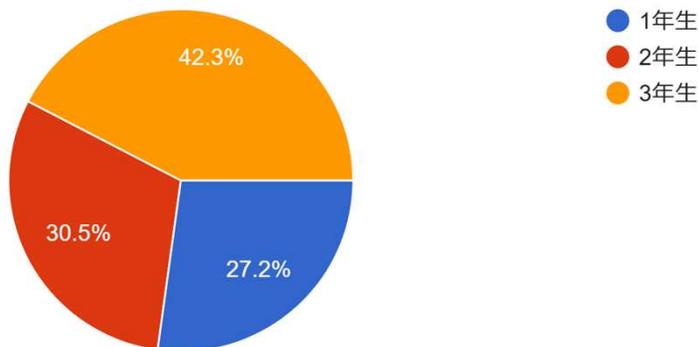
#### 後半まとめ：

多様なキャリアへのニーズ (起業・副業) に応えつつ、進学層や「特に考えていない」層との接点を維持することが重要である。リモートワークや継続的な情報発信により、将来的なUターンや流出防止を図る。

## 地元高校生対象 就職・地元企業に対するアンケート回答一覧

### ① あなたの学年を教えてください

777件の回答



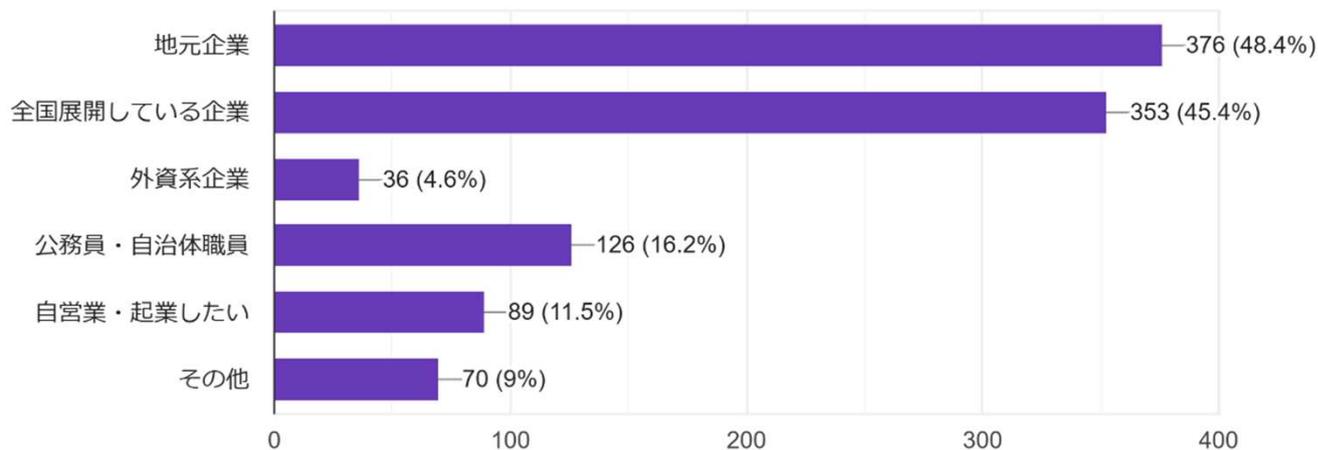
### ② 卒業後の進路希望を教えてください（複数選択可）

777件の回答



### ③ 将来働きたい企業のタイプは？（複数選択可）

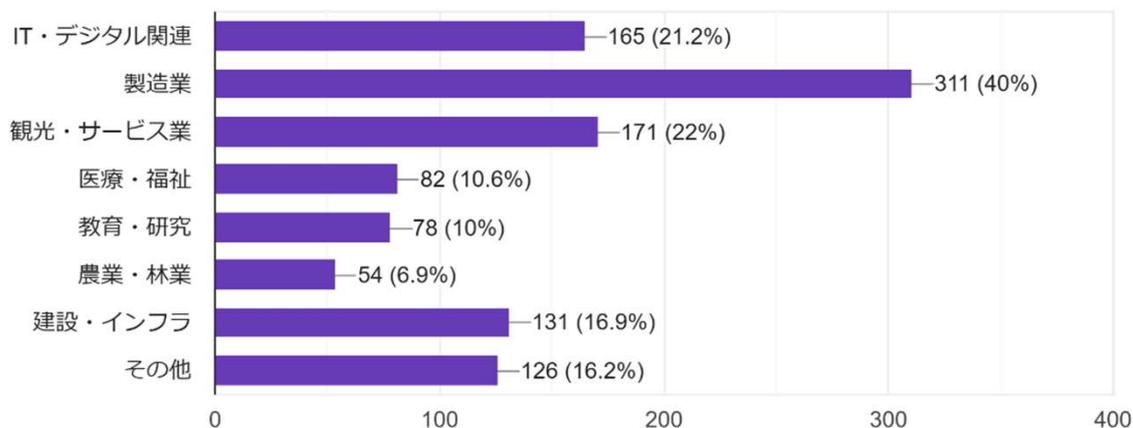
777件の回答



## 地元高校生対象 就職・地元企業に対するアンケート回答一覧

### ④ 働きたい業種は？（複数選択可）

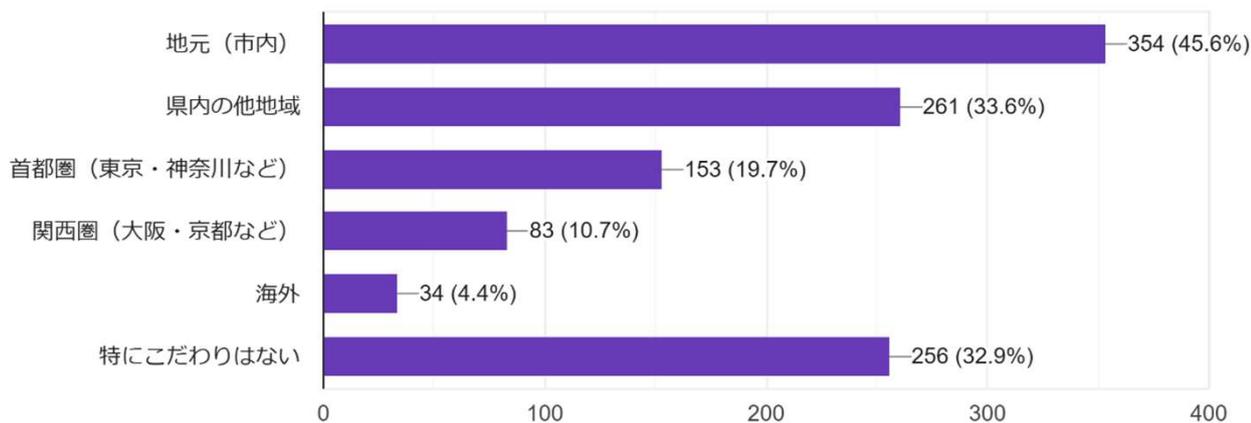
777件の回答



※⑤は④その他に対する直接回答データのため割愛

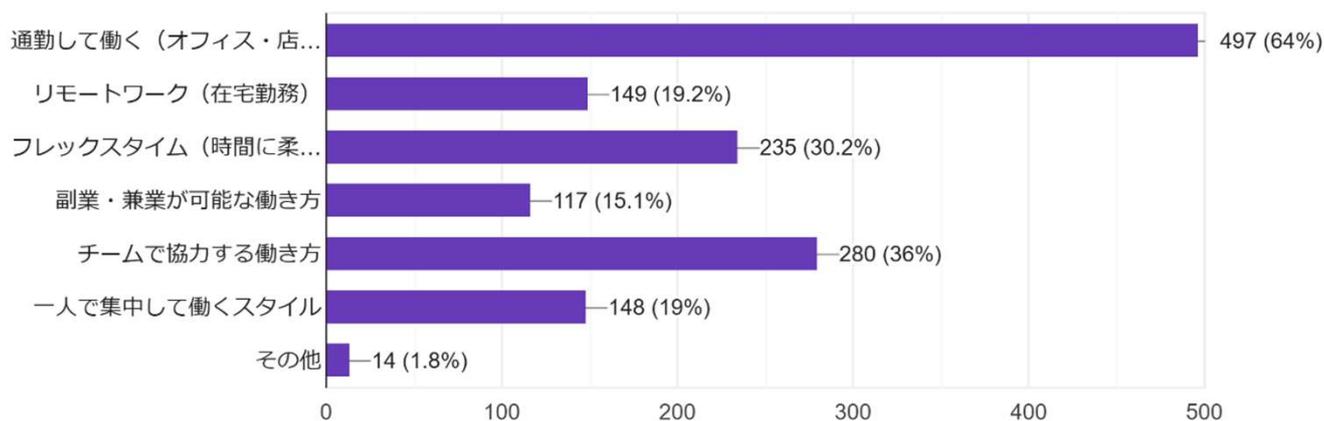
### ⑥ 働く場所として希望する地域は？（複数選択可）

777件の回答



### ⑦ 働き方として希望するスタイルは？（複数選択可）

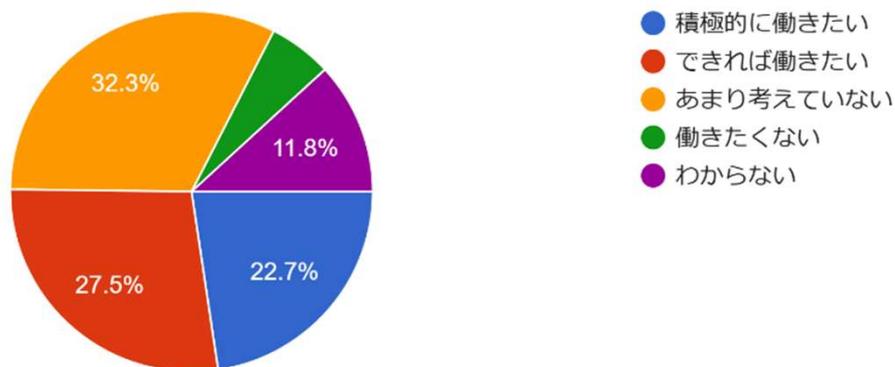
777件の回答



## 地元高校生対象 就職・地元企業に対するアンケート回答一覧

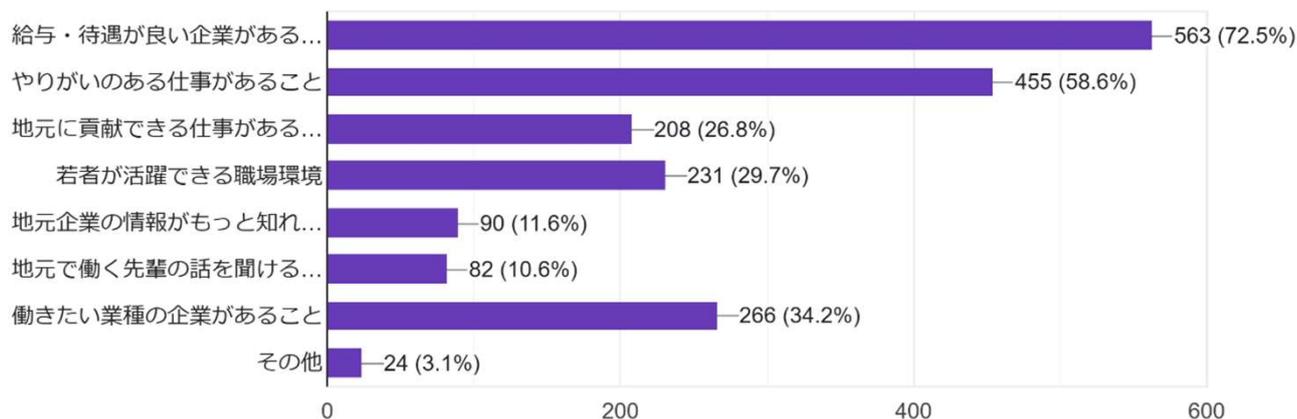
### ⑧ 地元で働くことについてどう思いますか？

777 件の回答



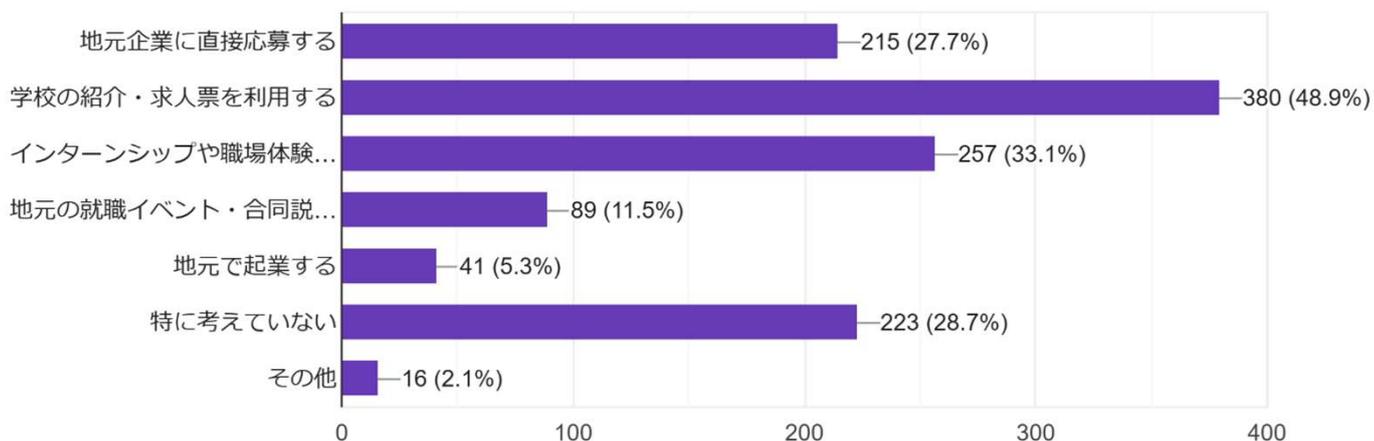
### ⑨ 地元で働くために必要だと思うことは？（複数選択可）

777 件の回答



### ⑩ 地元で働くためにどのような方法を考えていますか？（複数選択可）

777 件の回答



# ビジョン策定の経過と体制

## 策定経過

### 恵那市産業振興会議

第1回	令和7年10月14日
第2回	令和8年1月20日
第3回	令和8年3月19日

### 恵那市産業振興ビジョン戦略実施部会

第1回	令和7年11月25日
第2回	令和7年12月17日

### 恵那市産業振興ビジョン戦略策定部会

第1回	令和7年7月31日
第2回	令和7年8月29日
第3回	令和7年9月24日

### 策定基礎調査（アンケート）

事業者向け

101社

高校生向け

777名

## 委員名簿

### 恵那市産業振興会議（10名）

森岡 孝文（会長）	学校法人中部大学	藤井 泰徳	十六銀行恵那支店
阿部 伸一郎（副会長）	恵那商工会議所/恵那市観光協会	田中 友彦	恵那公共職業安定所
加藤 博靖	恵那市恵南商工会	清水 浩二	恵那県事務所
大塚 康芳	恵那市商店街連合会	横田 朝之	恵那市商工観光部
竹中 道明	恵那テクノパーク協同組合	小坂 喬峰（オブザーバー）	恵那市

### 戦略策定部会（11名）

松浦 陽平	有限会社松浦軒本店
加藤 健二	株式会社MARUKA
太田 基之	有限会社オータエンジニアリング
藤井 俊輔	藤井建設工業所
三宅 一生	まるげん
栗田 慎之介	株式会社ますき
西尾 友宏	行政書士西尾法務事務所
大塚 晃徳	株式会社フチシマヤ
大冨部 愛	有限会社アドループ
堀 好宏	金子建築工業株式会社
浅井 章宏	恵那市恵南商工会
高橋 誠	恵那商工会議所
光岡 幸一	恵那市役所商工観光部観光交流課

### 戦略実施部会（8名）

立尾 清二	恵那商工会議所
浅井 章宏	恵那市恵南商工会
光岡 幸一	恵那市役所観光交流課
伊藤 輝彦	恵那市役所観光交流課
和田 信之	恵那市役所商工課
荒川 利道	恵那市役所商工課
安江 宏樹	恵那市役所商工課
横田 洋平	恵那市役所商工課

# 用語解説

## 1. ビジネス・カタカナ用語

用語	資料内の文脈・意味・解説
A/Bテスト	Webマーケティング等の手法。AとBの2つのパターンを用意し、どちらの効果が高いかを検証すること。
BCP	事業継続計画。災害などの緊急時に事業を止めない、早期復旧するための計画。
DX	デジタルトランスフォーメーション。デジタル技術を活用して業務効率化やビジネスモデルの変革を行うこと。
EC / 越境EC	インターネット通販のこと。海外向けのネット通販を「越境EC」と呼ぶ。
GX	グリーントランスフォーメーション。温室効果ガスの排出削減など、環境に配慮した経営への転換。
IT・クリエイティブ人材	高度なデジタル技術（IT）の専門知識を持つ人材と、デザインや企画などの創造性（クリエイティビティ）を発揮して新たな価値を生み出す人材の総称です。
KPI	重要業績評価指標。目標の達成度合いを定量的に測るための指標。
M&A	企業の合併・買収。後継者不足の解決策の一つとしても用いられる。
MICE	企業会議、研修旅行、展示会など、多くの集客が見込めるビジネスイベントの総称。
OJT	職場での実務を通じた職業教育。
PDCAサイクル	計画（Plan）、実行（Do）、評価（Check）、改善（Action）のサイクルを回し、事業を継続的に見直すこと。
UIJターン	都市部から地方への移住・還流の総称。
WLBスコア	ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の充実度を数値化・可視化した指標。
アトツギベンチャー	家業の経営資源を活用して、若手後継者がベンチャーのように新規事業を起こすこと。
アルベルゴディフーズ	「分散型ホテル」。空き家などを客室として活用し、地域全体をホテルに見立てる取り組み。
アントレプレナーシップ	起業家精神。起業に向けた意欲や能力。
イノベーション	技術革新。新しい技術や考え方を取り入れ、新たな価値を生み出すこと。
インキュベーション	起業や新事業の創出を支援する機能や施設。
インクルーシブ	「包摂的な」の意。年齢、性別、障害の有無などに関わらず、誰もが参加・活躍できる状態。
カーボンニュートラル	温室効果ガスの排出量から、森林などによる吸収量を差し引き、全体として実質ゼロにすること。

用語	資料内の文脈・意味・解説
エコシステム	生態系。ビジネスにおいては、企業や製品、行政などが連携し合い、共存共栄する仕組み。
オープンイノベーション	組織内のリソースと外部（他企業・大学・自治体）の技術やアイデアを組み合わせ、革新的な価値を創出すること。
キャリア教育	子どもたちが自分の将来や職業について考え、社会で自立していくために必要な能力や態度を育む教育のこと。
キャリアパス	目標とする職務や役職に就くために必要な、業務経験やスキルアップの順序を示す「経歴の道筋」のこと。
グリーン・テック	環境保全や気候変動対策などの課題解決に貢献するテクノロジーやサービス。
コンソーシアム	共同事業体。複数の組織が連携して目的を達成する集まり。
ジェネレーティブAI	生成AI。入力データから新しいコンテンツ（文章、画像、プログラム等）を作り出す人工知能。
ジョブナビ	求職者と地域企業をマッチングさせるための就職情報サイトや支援システム。
スタートアップ	革新的な技術やアイデアで短期間に成長を目指す企業。
セラミック	陶磁器やファインセラミックス製品。恵那市においては地場産業である美濃焼などを含む関連産業。
ソリューション	企業や社会が抱えている課題や問題を解決するための手段やシステム。
ダッシュボード	様々なデータをグラフや数値などで一覧表示し、状況を可視化・分析する管理画面。
次世代モビリティ	自動運転、電気自動車（EV）、超小型モビリティなど、ITを活用した新しい移手段。
ノマド滞在	特定の場所に定住せず、移動しながら仕事や生活をする滞在スタイル。
ノーコード	専門的なプログラミング知識（ソースコードの記述）がなくても、アプリやWebサイトを開発できる手法。
バックオフィス	経理、人事、総務など、顧客と直接接しない管理部門。DXによる効率化が期待される領域。
ピッチイベント	スタートアップなどが投資家や協業先に対し、短時間で事業計画をプレゼンテーションするイベント。
ピッチイベント	スタートアップなどが投資家や協業先に対し、短時間で事業計画をプレゼンテーションするイベント。
ファクトリーブランド	他社からの委託（下請け）ではなく、モノづくりの製造工場が自ら企画から製造、販売までを一貫して手掛ける独自ブランドのこと。
ブートキャンプ	短期集中型の実践的トレーニングプログラム
文化継承ファンディング	地域の歴史的な街並みや伝統文化などを次世代へ受け継ぐために、クラウドファンディング等を活用して広く支援や資金を募る仕組み。
マイクログリッド	地域単位でエネルギー供給源と消費施設を持ち、エネルギーを地産地消する小規模電力網。
ライフステージ	人の一生における、就職や結婚、子育て、定年などの年齢や生活環境の変化に伴う段階や節目のこと。

用語	資料内の文脈・意味・解説
ラストワンマイル	物流において、最終拠点からエンドユーザー（最終顧客）に荷物を届けるまでの最後の区間。
リスキリング	職業能力の再開発。新しい職業や業務に対応するために、必要なスキルや知識を習得し直すこと。
リモートインターン	オンラインツールを活用して、遠隔地から企業の業務を体験するインターンシップ。
レジリエンス	回復力や弾力性。災害や不測の事態に適応し、事業や社会機能を維持・復旧する力。
ロボティクス	ロボットの設計・製作・制御に関連する工学技術全般。

## 2. 専門・行政用語

用語	資料内の文脈・意味・解説
6次産業化	農林漁業（1次）が加工（2次）・販売（3次）まで一体的に行うこと。
還流不足	一度地域を出た若者などが戻ってこないこと。
関係人口	定住していなくても、その地域と継続的に関わりを持つ人々。
黒字廃業	経営は黒字で健全であるにもかかわらず、後継者不足などで廃業すること。
周遊型観光	複数の観光地を短時間で巡るスタイル。中山道宿場町巡りなど。（※資料内定義）
事業承継	会社の経営を後継者に引き継ぐこと。
生産年齢人口	15歳以上65歳未満の、生産活動の中心となる人口層。
素材加工型産業	原材料を、最終製品ではなく部品や製品のもとになる形に作りかえる産業。（プラスチックや紙など）（※資料内定義）
滞在型観光	同じ地域に連泊しゆったり過ごす観光スタイル。アウトドアキャンプなども含まれる。（※資料内定義）
第二創業	後継者が事業を引き継いだ後、新たな分野や業態に挑戦すること。
地域商社観光DMO	地域の特産品販売等を担う「地域商社」と、観光地づくりを主導する「DMO」の機能を併せ持つ、または連携する組織。
地産地消	地域で生産されたものを地域で消費すること。
特化係数	その地域の産業が全国平均と比べてどれくらい集積しているか（強い）を示す数値指標。
一人一社制	高校生の就職活動において、一定期間は一人につき一社しか応募できない慣行・制度。
付加価値額	企業や組織が事業活動を通じて新たに生み出した金額。具体的には（売上高－原材料費や外注費などの費用）。（※資料内定義）
付加価値率	企業の売上高に占める付加価値額の割合を示す指標（売上高／付加価値額）。高いほど生産性が高いと評価される。（※資料内定義）

第3次恵那市  
産業振興ビジョン

# 稼ぐ力の強い、 持続する地域産業の形成へ

---

恵那市役所 商工観光部 商工課

〒509-7292 岐阜県恵那市長島町正家一丁目1番地1

発行日 令和8年3月

---